

財 務 諸 表 等

平成29年度

(第 7 期 事 業 年 度)

自 平成29年4月 1 日

至 平成30年3月31日

地方独立行政法人宮城県立病院機構

財 務 諸 表

貸借対照表
(平成30年3月31日現在)

【地方独立行政法人宮城県立病院機構】

(単位:円)

科 目	金 額	
資 産 の 部		
I 固 定 資 産		
1 有形固定資産		
土地	1,782,690,000	
建物	10,951,836,700	
建物減価償却累計額	3,816,971,835	7,134,864,865
構築物	251,955,288	
構築物減価償却累計額	126,058,242	125,897,046
器械備品	6,241,652,922	
器械備品減価償却累計額	4,520,956,461	1,720,696,461
車両	5,906,087	
車両減価償却累計額	4,156,552	1,749,535
建設仮勘定		350,850,825
その他有形固定資産		3,850,000
有形固定資産合計		11,120,598,732
2 無形固定資産		
ソフトウェア	194,259,901	
電話加入権	1,176,900	
その他無形固定資産		87,198
無形固定資産合計		195,523,999
3 投資その他の資産		
投資有価証券	99,994,666	
長期前払消費税	266,981,833	
投資その他資産		11,760
投資その他の資産合計		366,988,259
固定資産合計		11,683,110,990
II 流 動 資 産		
現金及び預金	1,176,584,873	
医業未収金	1,838,115,795	
貸倒引当金	△ 25,710,147	1,812,405,648
未収金	36,560,453	
貸倒引当金	△ 1,982,300	34,578,153
貯蔵品		
医療材料		
医薬品	72,242,827	
診療材料	49,933,701	
その他貯蔵品	6,532,051	128,708,579
その他流動資産		159,304,358
流動資産合計		3,311,581,611
資産合計		14,994,692,601

貸借対照表
(平成30年3月31日現在)

(単位:円)

科 目	金 額	
負 債 の 部		
I 固 定 負 債		
資産見返負債		
資産見返補助金等	126,375,333	
資産見返寄附金	6,251,504	
資産見返物品受贈額	18,849,410	151,476,247
長期寄附金債務		
長期借入金		3,150,534,824
移行前地方債償還債務		3,508,712,793
引当金		
退職給付引当金	5,097,471,148	5,097,471,148
長期リース債務		149,852,204
固定負債合計		12,058,047,216
II 流 動 負 債		
寄附金債務		15,022,139
1年以内返済予定移行前地方債償還債務		628,600,329
1年以内返済予定長期借入金		738,292,718
医業未払金		1,053,482,378
未払金		231,507,133
1年以内支払予定リース債務		113,348,364
未払消費税等		8,612,100
前受金		210,275,169
預り金		86,205,220
引当金		
賞与引当金	431,192,334	
流動負債合計		3,516,537,884
負債合計		15,574,585,100
純 資 産 の 部		
I 資本金		
設立団体出資金	174,353,108	
資本金合計		174,353,108
II 繰越欠損金		
当期末処理損失	△ 754,245,607	
(うち当期総損失)	(△ 476,773,076)	
繰越欠損金合計		△ 754,245,607
純資産合計		△ 579,892,499
負債純資産合計		14,994,692,601

損益計算書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

【地方独立行政法人宮城県立病院機構】

(単位:円)

科 目	金 額	
営業収益		
医業収益		
入院収益	7,141,913,241	
外来収益	4,016,517,967	
その他医業収益	291,169,033	11,449,600,241
運営費負担金収益		3,166,220,136
補助金等収益		18,869,633
寄附金収益		94,284
資産見返運営費負担金戻入		804,947,000
資産見返補助金等戻入		27,746,780
資産見返寄附金戻入		1,316,482
資産見返物品受贈額戻入		7,850,102
その他営業収益		90,000
営業収益合計		15,476,734,658
営業費用		
医業費用		
給与費	7,722,268,969	
材料費	3,578,698,190	
経費	2,447,233,112	
減価償却費	1,372,345,842	
研究研修費	149,142,939	15,269,689,052
一般管理費		
給与費	148,418,008	
経費	12,333,545	
減価償却費	7,678,222	168,429,775
取得財産に係る控除対象外消費税償却		53,779,380
控除対象外消費税(消費税損失)		470,733,522
営業費用合計		15,962,631,729
営業損失		△ 485,897,071
営業外収益		
運営費負担金収益		129,924,000
寄附金収益		1,348,688
財務収益		366,335
その他営業外収益		93,357,478
営業外収益合計		224,996,501
営業外費用		
財務費用		153,614,174
その他営業外費用		42,943,953
営業外費用合計		196,558,127
経常損失		△ 457,458,697
臨時利益		
貸倒引当金戻入益		2,867,773
臨時利益合計		2,867,773
臨時損失		
固定資産除却損		1,638,459
その他臨時損失		20,543,693
臨時損失合計		22,182,152
当期純損失		△ 476,773,076
当期総損失		△ 476,773,076

キャッシュ・フロー計算書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

【地方独立行政法人宮城県立病院機構】

(単位:円)

科 目	金 額
I 業務活動によるキャッシュ・フロー	
医療材料の購入による支出	△ 3,959,330,865
人件費支出	△ 7,913,213,897
その他業務支出	△ 2,629,735,214
医業収入	11,491,153,844
運営費負担金収入	3,218,869,136
補助金等収入	20,326,725
寄附金収入	6,450,000
その他業務収入	136,155,077
小計	370,674,806
利息受取額	362,335
利息支払額	△ 153,614,174
業務活動によるキャッシュ・フロー	217,422,967
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の戻入による収入	11,900,000,000
定期預金の預入による支出	△ 11,900,000,000
有形固定資産の取得による支出	△ 1,126,476,926
無形固定資産の取得による支出	△ 4,144,000
運営費負担金収入	804,947,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 325,673,926
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金による収入	1,000,000,000
短期借入金の返済による支出	△ 1,000,000,000
長期借入金による収入	517,600,000
長期借入金の返済による支出	△ 587,522,945
移行前地方債償還債務の償還による支出	△ 612,996,426
リース債務の返済による支出	△ 116,290,452
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 799,209,823
IV 資金増加額(又は減少額)	△ 907,460,782
V 資金期首残高	2,084,045,655
VI 資金期末残高	1,176,584,873

損失の処理に関する書類
(平成30年 9月 6日)

【地方独立行政法人 宮城県立病院機構】

(単位:円)

科 目	金 額
I 当期末処理損失	△ 754,245,607
当期総損失	△ 476,773,076
前期繰越欠損金	△ 277,472,531
II 損失処理額	0
III 次期繰越欠損金	<u>△ 754,245,607</u>

行政サービス実施コスト計算書
(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

【地方独立行政法人宮城県立病院機構】

(単位:円)

科 目	金 額		
I 業務費用			
(1) 損益計算書上の費用			
医業費用	15,269,689,052		
一般管理費	168,429,775		
取得財産に係る控除対象外消費税償却	53,779,380		
控除対象外消費税(消費税損失)	470,733,522		
営業外費用	196,558,127		
臨時損失	1,638,459	16,160,828,315	
(2) (控除) 自己収入等			
医業収益	△ 11,409,793,941		
寄付金収益	△ 1,442,972		
臨時利益	△ 2,867,773		
その他収益	△ 95,130,295	△ 11,509,234,981	
業務費用合計			4,651,593,334
(うち減価償却費充当補助金相当額)			(840,543,882)
II 引当外退職給付増加見積額	9,751,500		9,751,500
III 機会費用			
地方公共団体出資等の機会費用	78,458		
無利子又は通常より有利な条件 による融資取引の機会費用	12,750,000		12,828,458
IV 行政サービス実施コスト			4,674,173,292

注 記 事 項

I 重要な会計方針

当事業年度より、「地方独立行政法人会計基準」及び「地方独立行政法人会計基準注解」(平成29年3月31日総務省告示第117号改訂)並びに「地方独立行政法人会計基準」及び「地方独立行政法人会計基準注解」に関するQ & A【公営企業型版】(総務省自治行政局 総務省自治財政局 日本公認会計士協会 平成29年5月改訂)を適用しております。

1 運営費負担金収益の計上基準

期間進行基準を採用しております。

ただし、移行前地方債利息等については費用進行基準を採用しております。

2 減価償却の会計処理方法

(1) 有形固定資産

定額法を採用しております。

なお、主な資産の耐用年数は以下のとおりです。

建物 4年～39年

構築物 3年～37年

機器備品 2年～21年

車両 2年～6年

(2) 無形固定資産

定額法を採用しております。

なお、法人内利用ソフトウェアについては、法人内における利用可能期間に基づいて償却しております。

3 退職給付に係る引当金及び見積額の計上基準

役職員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき計上しております。

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については期間定額基準によっております。

過去勤務費用は、その発生時における職員の平均残存勤務期間内の一定の年数(10年)による定額法により費用処理しております。

数理計算上の差異は、各事業年度の発生時における役職員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(10年)による定額法により按分した額をそれぞれ発生の翌事業年度から費用処理することとしております。

なお、行政サービス実施コスト計算書における引当外退職給付増加見積額は、事業年度末に在籍する派遣職員について、期末の自己都合要支給額から期首の自己都合要支給額を控除して計算しております。

4 貸倒引当金の計上基準

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

5 賞与引当金の計上基準

役職員に対して支給する賞与に備えるため、当事業年度に負担すべき支給見込額を計上しております。

6 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的債券については、償却原価法(定額法)を採用しております。

7 たな卸資産の評価基準及び評価方法

医薬品、診療材料及び貯蔵品とも、最終仕入原価法に基づく低価法によっております。

8 行政サービス実施コスト計算書における機会費用の計上方法

(1) 地方公共団体出資等の機会費用の計算に使用した利率

10年利付国債の平成30年3月末における利回りを参考に0.045%で計算しております。

(2) 政府又は地方公共団体の無利子又は通常よりも有利な条件による融資取引の機会費用の計算に使用した利率

宮城県からの無利子の短期借入金については、市中金融機関からの借入利息1.275%にて計算しております。

9 リース取引の処理方法

リース料総額が300万円以上のファイナンス・リース取引については、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっております。リース料総額が300万円未満のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

10 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

II 会計方針の変更

[退職給付に係る会計処理]

当事業年度より、「地方独立行政法人会計基準」及び「地方独立行政法人会計基準注解」（平成29年3月31日総務省告示第117号改訂）並びに「地方独立行政法人会計基準」及び「地方独立行政法人会計基準注解」に関するQ&A【公営企業型版】（総務省自治行政局 総務省自治財政局 日本公認会計士協会 平成29年5月改訂）を適用しており、これに伴い「企業会計基準第26号 退職給付に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成28年12月16日最終改正）及び「企業会計基準適用指針第25号 退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準委員会 平成27年3月26日最終改正）を適用しております。

この変更による財務諸表等に与える影響はありません。

III 金融商品関係の時価等に関する事項

1 金融商品関係の状況に関する事項

当法人の資金運用は、預金並びに国債、地方債、政府保証債等に限定し、資金調達については設立団体からの借入により資金を調達しております。

未収債権等に係る回収リスクは、未収金取扱要領に沿ってリスク低減を図っており、借入金等の使途は運転資金（主として短期借入金）及び事業投資資金（長期）であり、設立団体の長により認可された資金計画に従って、資金調達を行っております。

2 金融商品関係の時価に関する事項

期末日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

（単位：円）

区 分	貸借対照表計上額	時 価	差 額
(1) 投資有価証券	99,994,666	100,210,000	215,334
(2) 現金及び預金	1,176,584,873	1,176,584,873	—
(3) 未 収 金	1,874,676,248	1,874,676,248	—
(4) 長 期 借 入 金	(3,888,827,542)	(4,023,551,427)	(134,723,885)
(5) 移行前地方債 償 還 債 務	(4,137,313,122)	(4,608,948,879)	(471,635,757)
(6) 未 払 金	(1,284,989,511)	(1,284,989,511)	—
(7) リ ー ス 債 務	(263,200,568)	(263,159,127)	(△ 41,441)

（注1）負債で計上されているものは（ ）で表示しております。

（注2）金融商品の時価の算出方法

- （1）投資有価証券

取引所の価格又は取引金融機関から提示された価格によっております。

- （2）現金及び預金、（3）未収金、（6）未払金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

- （4）長期借入金、（5）移行前地方債償還債務、（7）リース債務

これらの時価については、元利金の合計額を同様の新規借入を行った場合に想定される利率で割り引いて算出する方法によっております。

なお、長期借入金及び移行前地方債償還債務には、1年以内返済予定の金額を、リース債務には、1年以内支払予定の金額を含めて記載しております。

また、リース債務の貸借対照表計上額は利子を含んでおります。

IV キャッシュ・フロー計算書関係

- 1 資金の期末残高と貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係
現金及び預金勘定 1,176,584,873 円
現金及び預金勘定のうち定期預金 0 円
資金期末残高 1,176,584,873 円
- 2 重要な非資金取引
ファイナンス・リースによる資産の取得 182,588,126 円

V オペレーティング・リース取引関係

該当ありません。

VI 固定資産の減損関係

- 1 固定資産のグルーピングの方法
当法人においては、継続的に収支の把握を行っている各病院単位を1つの資産グループとして取り扱っております。
- 2 共用資産の取扱い
 - (1) 共用資産の概要 (単位：円)

名 称	場 所	固定資産額
法人本部	宮城県名取市愛島塩手字野田山47-1	109,005,555
 - (2) 共用資産の取扱いの方法
共用資産に係る減損の兆候の把握等は、3病院に法人本部を加えた機構全体で行います。
- 3 減損の兆候が認められた固定資産
該当事項はありません。

VII 退職給付関係

- 1 採用している退職給付制度の概要
当法人は、職員の退職給付に充てるため、非積立型の退職一時金制度を採用しております。当該制度では、給与と勤務期間に基づいた一時金を支給しております。
- 2 確定給付制度
 - (1) 退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

期首における退職給付債務	4,945,617,651 円
勤務費用	345,441,240 円
利息費用	39,261,673 円
数理計算上の差異の当期発生額	360,120,732 円
退職給付の支払額	△ 288,678,991 円
期末における退職給付債務	5,401,762,305 円
 - (2) 退職給付債務と貸借対照表に計上された退職給付引当金の調整表

非積立型制度の末積立退職給付債務	5,401,762,305 円
未認識数理計算上の差異	△ 277,755,223 円
未認識過去勤務費用	△ 26,535,934 円
退職給付引当金	5,097,471,148 円
 - (3) 退職給付に関連する損益

勤務費用	345,441,240 円
利息費用	39,261,673 円
数理計算上の差異の当期の費用処理額	△ 12,577,899 円
過去勤務費用の当期の費用処理額	3,790,846 円
合計	375,915,860 円
 - (4) 数理計算上の計算基礎に関する事項
期末における主要な数理計算上の計算基礎（加重平均で表している。）
割引率 0.80%

VIII 賃貸等不動産関係

賃貸等不動産の総額に重要性が乏しいため、注記を省略しております。

IX 資産除去債務

該当事項はありません。

X 重要な債務負担行為

当事業年度末までに契約を締結し、翌事業年度以降に支払いが発生する重要なものは、以下のとおりです。

(単位：円)

契 約 内 容	病 院 名	契 約 金 額	翌事業年度以降の支払金額
庁舎管理業務(H28～H30)	循環器・呼吸器病センター	222,121,440	74,040,480
医事業務(H28～H30)	循環器・呼吸器病センター	123,444,000	41,148,000
機械設備等保守運転業務(H29～H31)	精神医療センター	107,723,520	53,861,760
建物総合管理業務(H28～H30)	がんセンター	563,760,000	187,920,000
医事業務(H28～H30)	がんセンター	295,799,040	98,599,680
画像診断装置保守点検業務(H28～H30)	がんセンター	136,080,000	45,360,000
物品・薬品管理業務(H29～H31)	がんセンター	138,684,960	92,456,640
中央材料室滅菌業務(H29～H31)	がんセンター	142,203,600	92,802,400
ESCO事業契約(H20～H35)	がんセンター	774,484,000	244,944,000

XI 重要な後発事象

該当事項はありません。

財 務 諸 表

(附属明細書)

附属明細書

(1) 固定資産の取得及び処分並びに減価償却費の明細

(単位:円)

資産の種類		期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	減価償却累計額	当期償却額	差引当期末残高	摘要
有形固定資産 (償却費損益内)	建物	10,681,938,000	269,898,700	0	10,951,836,700	3,816,971,835	517,854,833	7,134,864,865	
	構築物	251,955,288	0	0	251,955,288	126,058,242	14,796,406	125,897,046	
	器械備品	5,903,018,372	391,817,295	53,182,745	6,241,652,922	4,520,956,461	718,798,592	1,720,696,461	
	車両	5,099,335	850,000	43,248	5,906,087	4,156,552	592,112	1,749,535	
	計	16,842,010,995	662,565,995	53,225,993	17,451,350,997	8,468,143,090	1,252,041,943	8,983,207,907	
有形固定資産 (償却費損益外)	建物								
	構築物								
	計								
非償却資産	土地	1,782,690,000	0	0	1,782,690,000			1,782,690,000	
	建設仮勘定	350,850,825	0	0	350,850,825			350,850,825	
	その他有形固定資産	3,850,000	0	0	3,850,000			3,850,000	
	計	2,137,390,825	0	0	2,137,390,825			2,137,390,825	
有形固定資産 合計	土地	1,782,690,000	0	0	1,782,690,000			1,782,690,000	
	建物	10,681,938,000	269,898,700	0	10,951,836,700	3,816,971,835	517,854,833	7,134,864,865	(注1)
	構築物	251,955,288	0	0	251,955,288	126,058,242	14,796,406	125,897,046	
	器械備品	5,903,018,372	391,817,295	53,182,745	6,241,652,922	4,520,956,461	718,798,592	1,720,696,461	(注2)
	車両	5,099,335	850,000	43,248	5,906,087	4,156,552	592,112	1,749,535	
	建設仮勘定	350,850,825	0	0	350,850,825			350,850,825	
	その他有形固定資産	3,850,000	0	0	3,850,000			3,850,000	
	計	18,979,401,820	662,565,995	53,225,993	19,588,741,822	8,468,143,090	1,252,041,943	11,120,598,732	
無形固定資産	ソフトウェア	813,982,750	4,144,000	0	818,126,750	623,866,849	127,629,259	194,259,901	
	電話加入権	1,176,900	0	0	1,176,900			1,176,900	
	その他無形固定資産	5,332,170	0	4,634,579	697,591	610,393	87,199	87,198	
	計	820,491,820	4,144,000	4,634,579	820,001,241	624,477,242	127,716,458	195,523,999	
投資その他の 資産	投資有価証券	99,990,666	4,000	0	99,994,666	0	0	99,994,666	
	長期前払消費税	545,968,421	53,034,691	0	599,003,112	332,021,279	53,779,380	266,981,833	
	その他投資資産	11,760	0	0	11,760			11,760	
	計	645,970,847	53,038,691	0	699,009,538	332,021,279	53,779,380	366,988,259	

(注1)当期増加額は、屋上防水工事116,020,000円等のがんセンターの大規模修繕事業によるものです。

(注2)当期増加額の主なものは、情報系LAN用端末リース48,900,000円や循環器・呼吸器病センターの医療情報システムサーバーの更新41,000,000円によるものです。

(2) たな卸資産の明細

(単位:円)

種 類	期首残高	当期増加額		当期減少額		期末残高	摘要
		当期購入・製造・振替	その他	払出・振替	その他(注)		
医薬品	84,601,694	3,076,486,758	0	3,081,897,220	6,948,405	72,242,827	
診療材料	49,677,489	485,496,167	0	483,577,588	1,662,367	49,933,701	
貯蔵品	3,240,887	113,639,041	0	110,347,877	0	6,532,051	
計	137,520,070	3,675,621,966	0	3,675,822,685	8,610,772	128,708,579	

(注)当期減少額のその他には、期限切れによる廃棄もしくは滅失した資産を記載しております。

(3) 有価証券の明細

(単位:円)

満期保有 目的債券	種類及び銘柄	取得価額	券面総額	貸借対照表計上額	当期損益に含まれた評価差額	摘 要
	地方債 宮城県公募公債第10回1号	99,980,000	100,000,000	99,994,666	4,000	
	計	99,980,000	100,000,000	99,994,666	4,000	

(4) 長期借入金の明細

(単位:円)

区 分	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高	平均利率(%)	返済期限	摘要
23年度 災害復旧貸付金	34,544,985	—	6,812,779	27,732,206	0.700%	平成34年3月1日	
施設整備事業貸付金	28,850,002	—	9,616,666	19,233,336	0.694%	平成32年3月30日	
施設整備事業貸付金	18,812,500	—	3,762,500	15,050,000	0.830%	平成34年3月28日	
施設整備事業貸付金	29,268,000	—	7,316,000	21,952,000	0.300%	平成33年3月29日	
医療機械等購入事業貸付金	56,900,000	—	56,900,000	0	0.162%	平成30年3月29日	
施設整備事業貸付金	454,300,000	—	0	454,300,000	1.500%	平成55年3月30日	
医療機械器具整備事業貸付金	400,850,000	—	160,340,000	240,510,000	0.391%	平成31年9月27日	
施設整備事業貸付金	490,100,000	—	0	490,100,000	1.400%	平成56年3月20日	
医療機械器具整備事業貸付金	175,400,000	—	87,700,000	87,700,000	0.241%	平成31年3月28日	
施設整備事業貸付金	125,200,000	—	0	125,200,000	1.200%	平成57年3月20日	
医療機械器具整備事業貸付金	545,025,000	—	181,675,000	363,350,000	0.164%	平成32年3月27日	
医療機械器具整備事業貸付金	293,600,000	—	73,400,000	220,200,000	0.072%	平成33年3月29日	
施設整備事業貸付金	158,200,000	—	0	158,200,000	0.500%	平成58年3月20日	
医療機械器具整備事業貸付金	757,800,000	—	0	757,800,000	0.068%	平成34年3月29日	
施設整備事業貸付金	18,400,000	—	0	18,400,000	0.300%	平成46年3月20日	
施設整備事業貸付金	371,500,000	—	0	371,500,000	0.600%	平成59年3月20日	
医療機械器具整備事業貸付金	0	227,800,000	0	227,800,000	0.084%	平成35年3月29日	
施設整備事業貸付金	0	289,800,000	0	289,800,000	0.400%	平成60年3月29日	
計	3,958,750,487	517,600,000	587,522,945	3,888,827,542	—	—	

(5) 移行前地方債償還債務の明細

(単位:円)

銘 柄	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高	利率(%)	償還期限	摘要
大蔵省資金運用部	8,246,424	—	4,024,436	4,221,988	4.850%	平成31年3月25日	
大蔵省資金運用部	1,941,852,123	—	289,475,230	1,652,376,893	4.400%	平成35年3月25日	
大蔵省資金運用部	132,670,485	—	16,959,536	115,710,949	3.650%	平成36年3月1日	
大蔵省資金運用部	54,502,377	—	4,453,612	50,048,765	2.100%	平成40年3月1日	
大蔵省資金運用部	189,127,588	—	14,013,462	175,114,126	2.100%	平成41年3月1日	
大蔵省資金運用部	29,976,995	—	2,221,154	27,755,841	2.100%	平成41年3月1日	
公営企業金融公庫	170,288,758	—	11,449,180	158,839,578	2.200%	平成42年3月20日	
財務省財政融資資金	45,156,289	—	2,571,414	42,584,875	2.200%	平成44年3月1日	
財務省財政融資資金	380,508,146	—	21,667,948	358,840,198	2.200%	平成44年3月1日	
財務省財政融資資金	284,862,377	—	16,630,066	268,232,311	0.900%	平成45年3月25日	
公営企業金融公庫	521,309	—	27,728	493,581	2.100%	平成45年3月20日	
公営企業金融公庫	10,897,977	—	563,558	10,334,419	2.000%	平成45年9月20日	
財務省財政融資資金	468,035,851	—	20,942,584	447,093,267	2.100%	平成47年9月25日	
財務省財政融資資金	54,034,077	—	2,071,348	51,962,729	2.100%	平成50年3月1日	
公営企業金融公庫	33,575,722	—	1,454,718	32,121,004	2.100%	平成48年3月20日	
三井住友銀行	209,469,712	—	57,153,786	152,315,926	2.060%	平成33年3月25日	
東和銀行	736,583,338	—	147,316,666	589,266,672	1.030%	平成34年3月25日	
計	4,750,309,548	—	612,996,426	4,137,313,122			

(6) 引当金の明細

(単位:円)

区 分	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高	摘要
			目的使用	その他(注)		
退職給付引当金	5,010,234,279	375,915,860	288,678,991		5,097,471,148	
賞与引当金	413,202,463	431,192,334	413,202,463		431,192,334	
貸倒引当金	33,618,712	210	3,058,702	2,867,773	27,692,447	
計	5,457,055,454	807,108,404	704,940,156	2,867,773	5,556,355,929	

(注)貸倒引当金の当期減少額のその他は、回収による取崩しによるものです。

(7) 資本金の明細

(単位:円)

区 分		期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
資本金	設立団体出資金	174,353,108	0	0	174,353,108	
	計	174,353,108	0	0	174,353,108	

(8) 積立金等の明細

ア 積立金の明細

(単位:円)

区 分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
積立金	23,249,626	0	23,249,626	0	
計	23,249,626	0	23,249,626	0	

(注)積立金の当期減少額は、繰越欠損金処理による取崩しによるものです。

(9) 運営費負担金債務及び運営費負担金収益の明細

ア 運営費負担金債務 (単位:円)

交付年度	期首残高	負担金当期交付額	当期振替額				期末残高
			運営費負担金収益	資産見返運営費負担金	資本剰余金	小計	
平成29年度	77,275,000	4,023,816,136	3,296,144,136	804,947,000	0	4,101,091,136	0
計	77,275,000	4,023,816,136	3,296,144,136	804,947,000	0	4,101,091,136	0

(注) 負担金当期交付額は、未執行に伴う精算額77,275,000円を除いた金額を記載しています。

(注) 上記の他、過年度運営費負担金の返還額20,543,693円を臨時損失に計上しています。

イ 運営費負担金収益

業務等区分	平成29年度負担分	合計
期間進行基準	3,166,220,136	3,166,220,136
費用進行基準	129,924,000	129,924,000
計	3,296,144,136	3,296,144,136

(10) 地方公共団体等からの財源措置の明細

ア 補助金等の明細 (単位:円)

区 分	当期交付額	左の会計処理内訳					摘要
		建設仮勘定補助金等	資産見返補助金等	資産剰余金	長期預り補助金等	収益計上	
がん診療連携拠点病院機能強化事業補助金	18,000,000					18,000,000	
新人看護職員研修事業補助金	574,000					574,000	
医師臨床研修費補助事業補助金	40,633					40,633	
がんゲノム医療・集学的治療推進事業補助金	254,000					254,000	
第二期地域復興医療復興事業(第二期認定看護師課程派遣助成事業)補助金	1,000					1,000	
計	18,869,633	0	0	0	0	18,869,633	

(11) 役員及び職員の給与の明細

(単位:千円、人)

区 分	報酬または給与		退職手当	
	支給額	支給人数	支給額	支給人数
役 員	(1,560)	(4)	(0)	(0)
	23,619	2	0	0
職 員	(283,588)	(133)	(0)	(0)
	5,943,140	800	287,532	49
計	(285,148)	(137)	(0)	(0)
	5,966,759	802	287,532	49

(注1)

非常勤・有期職員については、外数として()内に記載しています。

また、支給人数については、年間平均支給人数で記載しています。

(注2)

役員報酬については、「地方独立行政法人宮城県立病院機構役員報酬等規程」に基づき支給しています。

職員給与及び退職手当については、「地方独立行政法人宮城県立病院機構職員給与規程」及び「地方独立行政法人宮城県立病院機構職員退職手当規程」に基づき支給しています。

(注3)

上記明細には、法定福利費は含めていません。

(12) 開示すべきセグメント情報

(単位:円)

区分	循環器・呼吸器病 セ ン タ ー	精神医療センター	がんセンター	計	機構本部	合計	
営業収益	1,458,574,815	2,716,450,837	11,294,210,722	15,469,236,374	7,498,284	15,476,734,658	
医業収益	466,851,221	1,901,223,287	9,081,525,733	11,449,600,241	0	11,449,600,241	
運営費負担金	927,407,902	778,966,000	1,452,442,234	3,158,816,136	7,404,000	3,166,220,136	
資産見返負債戻入	64,315,692	36,108,550	741,436,122	841,860,364	0	841,860,364	
その他営業収益	0	153,000	18,806,633	18,959,633	94,284	19,053,917	
営業費用	1,836,578,474	2,787,348,646	11,167,989,707	15,791,916,827	170,714,902	15,962,631,729	
医業費用	1,789,454,255	2,740,299,645	10,738,955,242	15,268,709,142	979,910	15,269,689,052	
一般管理費	0	0	0	0	168,429,775	168,429,775	
その他営業費用	47,124,219	47,049,001	429,034,465	523,207,685	1,305,217	524,512,902	
営業損益	△ 378,003,659	△ 70,897,809	126,221,015	△ 322,680,453	△ 163,216,618	△ 485,897,071	
営業外収益	29,332,555	26,085,763	169,374,584	224,792,902	203,599	224,996,501	
運営費負担金収益	10,732,000	10,650,000	108,542,000	129,924,000	0	129,924,000	
その他営業外収益	18,600,555	15,435,763	60,832,584	94,868,902	203,599	95,072,501	
営業外費用	12,366,728	10,741,664	173,201,014	196,309,406	248,721	196,558,127	
財務費用	12,346,165	10,336,555	130,931,454	153,614,174	0	153,614,174	
その他営業外費用	20,563	405,109	42,269,560	42,695,232	248,721	42,943,953	
経常損益	△ 361,037,832	△ 55,553,710	122,394,585	△ 294,196,957	△ 163,261,740	△ 457,458,697	
総資産	1,902,889,748	2,347,201,013	9,462,314,269	13,712,405,030	1,282,287,571	14,994,692,601	
(主要資産内訳)							
固定資産	有形固定資産	1,775,023,869	1,866,412,204	7,470,806,632	11,112,242,705	8,356,027	11,120,598,732
流動資産	現金及び預金	421,920	272,822	2,808,115	3,502,857	1,173,082,016	1,176,584,873
	未収金	63,524,167	330,554,664	1,475,619,946	1,869,698,777	1,573,056	1,871,271,833

(注)セグメントの区分については、地方独立行政法人宮城県立病院機構会計規程に基づき、経理単位に区分しています。

(13) 医業費用及び一般管理費の明細

(単位

科目	金額	
医業費用		
給与費		
給料	3,211,498,975	
手当等	2,234,536,809	
賃金	219,984,895	
法定福利費	1,262,069,808	
退職給付費用	370,317,818	
賞与引当金繰入額	423,860,664	7,722,268,969
材料費		
薬品費	3,081,897,220	
診療材料費	483,577,588	
医療消耗備品費	4,612,610	
たな卸資産減耗費	8,610,772	3,578,698,190
経費		
報償費	156,280,034	
旅費交通費	4,959,827	
職員被服費	8,933,038	
消耗品費	50,816,131	
消耗備品費	2,640,114	
光熱水費	250,801,451	
燃料費	98,879,980	
交際費	192,954	
食糧費	109,071	
印刷製本費	3,846,200	
修繕費	127,633,583	
保険料	14,540,181	
広告宣伝費	2,511,380	
通信運搬費	13,668,263	
賃借料	72,680,659	
委託料	1,609,105,421	
職員採用費	114,227	
諸会費	3,941,240	
雑費	25,579,358	2,447,233,112
減価償却費		
建物減価償却費	517,854,833	
構築物減価償却費	14,796,406	
器械備品減価償却費	714,864,629	
車両減価償却費	326,853	
無形固定資産減価償却費	124,503,121	1,372,345,842
研究研修費		
研究材料費	15,225,926	
報償費	1,636,353	
研究旅費	32,085,071	
図書費	8,797,736	
研究雑費	91,397,853	149,142,939
医業費用合計		15,269,689,052
取得資産に係る控除対象外消費税償却		53,779,380
控除対象外消費税(消費税損失)		470,733,522
合 計		15,794,201,954

科目	金額	
一般管理費		
給与費		
給料	49,236,922	
手当等	24,544,925	
賃金	12,149,472	
報酬	25,154,134	
法定福利費	24,402,843	
退職給付費用	5,598,042	
賞与引当金繰入額	7,331,670	148,418,008
経費		
報償費	1,395,649	
旅費交通費	747,897	
消耗品費	730,352	
消耗備品費	90,300	
光熱水費	603,710	
燃料費	245,673	
交際費	454,607	
印刷製本費	33,000	
保険料	47,420	
通信運搬費	291,070	
賃借料	666,558	
委託料	5,625,077	
職員採用費	512,387	
諸会費	188,500	
雑費	701,345	12,333,545
減価償却費		
器械備品減価償却費	3,933,963	
車両減価償却費	265,259	
無形固定資産減価償却費	3,479,000	7,678,222
一般管理費合計		168,429,775

(14) 上記以外の主な資産、負債、費用及び収益の明細

現金及び預金の内訳

区分	期末残高	備考
現金	3,551,057	
普通預金	1,173,033,816	
定期預金	0	
計	1,176,584,873	

決 算 報 告 書

平成29年度

(第7期事業年度)

自 平成29年4月 1 日

至 平成30年3月31日

地方独立行政法人宮城県立病院機構

平成 29 年 度 決 算 報 告 書

【地方独立行政法人宮城県立病院機構】

(単位:円)

区 分	当初予算額	決 算 額	差 額 (決算額-当初予算額)	備 考
収入				
営業収益	16,104,800,000	15,507,660,368	△ 597,139,632	
医業収益	12,077,029,000	11,480,525,951	△ 596,503,049	入院患者数の目標未達による減
運営費負担金	3,165,592,000	3,166,220,136	628,136	
資産見返運営費負担金戻入	804,947,000	804,947,000		
その他営業収益	57,232,000	55,967,281	△ 1,264,719	
営業外収益	221,874,000	230,304,282	8,430,282	
運営費負担金	129,924,000	129,924,000	0	
その他営業外収益	91,950,000	100,380,282	8,430,282	栗原中央病院への研修派遣に伴う増
臨時利益	0	2,867,773	2,867,773	貸倒引当金の戻し入れによる増
目的積立金取崩額	0	0	0	
資本収入	1,368,800,000	517,600,000	△ 851,200,000	
運営費負担金	0	0	0	
長期借入金	1,368,800,000	517,600,000	△ 851,200,000	精神C電カルシステムやがんC大規模修繕の翌年度以降への繰越による減
その他資本収入	0	0	0	
計	17,695,474,000	16,258,432,423	△ 1,437,041,577	
支出				
営業費用	16,065,336,000	15,995,856,434	△ 69,479,566	
医業費用	15,492,895,000	15,455,011,674	△ 37,883,326	
給与費	7,777,491,000	7,729,524,315	△ 47,966,685	職員数減による減
材料費	3,499,457,000	3,578,698,190	79,241,190	がんCの化学療法等の増等による増
経費	2,712,679,000	2,616,660,800	△ 96,018,200	契約請差等による減
減価償却費	1,316,002,000	1,372,345,842	56,343,842	
研究研修費	187,266,000	157,782,527	△ 29,483,473	
一般管理費	198,193,000	169,537,472	△ 28,655,528	
給与費	163,191,000	148,593,862	△ 14,597,138	職員数減による減
経費	27,430,000	13,265,388	△ 14,164,612	委託料等の減による減
減価償却費	7,572,000	7,678,222	106,222	
消費税及び地方消費税	35,191,000	23,478,900	△ 11,712,100	課税取引の減少による減
取得資産に係る控除対象外消費税償却	51,252,000	53,779,380	2,527,380	
控除対象外消費税	287,805,000	294,049,008	6,244,008	材料費の増加による増
営業外費用	235,609,000	199,566,913	△ 36,042,087	予備費の減
臨時損失	517,000	22,182,152	21,665,152	H23年分の運営費負担金の返還による増
資本支出	2,719,526,000	1,850,190,032	△ 869,335,968	
建設改良費	1,519,005,000	649,670,661	△ 869,334,339	精神C電カルシステムやがんC大規模修繕の翌年度以降への繰越による減
償還金	1,200,521,000	1,200,519,371	△ 1,629	
その他資本支出	0	0	0	
計	19,020,988,000	18,067,795,531	△ 953,192,469	

(注) 損益計算の計上額と決算額の相違: 上記数値は消費税等込みの金額を記載しております。

平成29年度決算報告書

【循環器・呼吸器病センター】

(単位:円)

区 分	当初予算額	決 算 額	差 額 (決算額-当初予算額)	備 考
収入				
営業収益	1,760,283,000	1,459,084,821	△ 301,198,179	
医業収益	766,112,000	467,361,227	△ 298,750,773	入院外来患者数の目標未達による減
運営費負担金	929,763,000	927,407,902	△ 2,355,098	28年度分の精算が見込を下回ったことによる減
資産見返運営費負担金戻入	61,613,000	61,613,000	0	
その他営業収益	2,795,000	2,702,692	△ 92,308	
営業外収益	13,487,000	29,423,000	15,936,000	
運営費負担金	10,732,000	10,732,000	0	
その他営業外収益	2,755,000	18,691,000	15,936,000	栗原中央病院への研修派遣に伴う増
臨時利益	0	1,710,229	1,710,229	貸倒引当金の戻し入れによる増
目的積立金取崩額	0	0	0	
資本収入	68,900,000	52,800,000	△ 16,100,000	
長期借入金	68,900,000	52,800,000	△ 16,100,000	資産購入の取りやめ、請差発生に伴う借入の減
その他資本収入	0	0	0	
計	1,842,670,000	1,543,018,050	△ 299,651,950	
支出				
営業費用	2,159,272,000	1,837,177,302	△ 322,094,698	
医業費用	2,134,291,000	1,821,343,803	△ 312,947,197	
給与費	1,113,580,000	969,803,415	△ 143,776,585	職員数減による減
材料費	174,907,000	73,958,498	△ 100,948,502	入院外来患者数の減による減
経費	598,060,000	533,484,870	△ 64,575,130	契約請差等による減
減価償却費	241,021,000	239,354,442	△ 1,666,558	
研究研修費	6,723,000	4,742,578	△ 1,980,422	
消費税及び地方消費税	858,000	389,750	△ 468,250	課税取引の減少による減
取得資産に係る控除対象外消費税償却	7,856,000	7,776,163	△ 79,837	
控除対象外消費税	16,267,000	7,667,586	△ 8,599,414	材料費の減少による減
営業外費用	12,726,000	12,368,351	△ 357,649	
臨時損失	516,000	12,474,463	11,958,463	H23年分の運営費負担金の返還による増
資本支出	198,275,000	177,791,244	△ 20,483,756	
建設改良費	91,091,000	70,608,024	△ 20,482,976	資産購入の取りやめ、請差発生に伴う減
償還金	107,184,000	107,183,220	△ 780	
計	2,370,789,000	2,039,811,360	△ 330,977,640	

(注) 損益計算の計上額と決算額の相違: 上記数値は消費税等込みの金額を記載しております。

平成29年度決算報告書

【精神医療センター】

(単位:円)

区 分	当初予算額	決 算 額	差 額 (決算額-当初予算額)	備 考
収入				
営業収益	2,966,141,000	2,724,068,147	△ 242,072,853	
医業収益	2,160,521,000	1,908,840,597	△ 251,680,403	入院患者数の目標未達による減
運営費負担金	769,455,000	778,966,000	9,511,000	人勧実施に伴う運営費負担交付による増
資産見返運営費負担金戻入	28,257,000	28,257,000	0	
その他営業収益	7,908,000	8,004,550	96,550	
営業外収益	28,304,000	26,787,513	△ 1,516,487	
運営費負担金	10,650,000	10,650,000	0	
その他営業外収益	17,654,000	16,137,513	△ 1,516,487	自動販売機手数料収入の減等による
臨時利益	0	509,101	509,101	貸倒引当金の戻し入れによる増
目的積立金取崩額	0	0	0	
資本収入	200,800,000	8,200,000	△ 192,600,000	
長期借入金	200,800,000	8,200,000	△ 192,600,000	電カルシステム更新の翌年度への繰越に伴う減
計	3,195,245,000	2,759,564,761	△ 435,680,239	
支出				
営業費用	2,773,246,000	2,795,642,896	22,396,896	
医業費用	2,746,358,000	2,773,673,610	27,315,610	
給与費	1,927,192,000	1,999,698,097	72,506,097	職員数増及び人勧実施による増
材料費	149,099,000	143,372,932	△ 5,726,068	入院患者数の減による減
経費	520,892,000	484,423,128	△ 36,468,872	契約請差等による減
減価償却費	137,175,000	135,888,846	△ 1,286,154	
研究研修費	12,000,000	10,290,607	△ 1,709,393	
消費税及び地方消費税	8,616,000	5,390,755	△ 3,225,245	課税取引の減少による減
取得資産に係る控除対象外消費税償却	3,702,000	2,414,861	△ 1,287,139	
控除対象外消費税	14,570,000	14,163,670	△ 406,330	材料費の減少による減
営業外費用	10,826,000	10,766,474	△ 59,526	
臨時損失	0	1,494,075	1,494,075	H23年分の運営費負担金の返還による増
資本支出	274,233,000	63,697,847	△ 210,535,153	
建設改良費	230,017,000	19,480,824	△ 210,536,176	電カルシステム更新の翌年度への繰越に伴う減
償還金	44,216,000	44,217,023	1,023	
計	3,058,305,000	2,871,601,292	△ 186,703,708	

(注) 損益計算の計上額と決算額の相違: 上記数値は消費税等込みの金額を記載しております。

平成29年度決算報告書

【がんセンター】

(単位:円)

区 分	当初予算額	決 算 額	差 額 (決算額-当初予算額)	備 考
収入				
営業収益	11,369,323,000	11,317,009,116	△ 52,313,884	
医業収益	9,150,396,000	9,104,324,127	△ 46,071,873	入院患者数の目標未達による減
運営費負担金	1,457,753,000	1,452,442,234	△ 5,310,766	28年度分の精算が見込を下回ったことによる減
資産見返運営費負担金戻入	715,077,000	715,077,000		
その他営業収益	46,097,000	45,165,755	△ 931,245	
営業外収益	180,083,000	173,890,170	△ 6,192,830	
運営費負担金	108,542,000	108,542,000	0	
その他営業外収益	71,541,000	65,348,170	△ 6,192,830	受託研究治験協力費の減等による減
臨時利益	0	541,443	541,443	貸倒引当金の戻し入れによる増
目的積立金取崩額	0	0	0	
資本収入	1,036,100,000	450,700,000	△ 585,400,000	
長期借入金	1,036,100,000	450,700,000	△ 585,400,000	大規模修繕の翌年度以降への繰越による減
その他資本収入	0	0	0	
計	12,585,506,000	11,942,140,729	△ 643,365,271	
支出				
営業費用	10,930,095,000	11,192,321,334	262,226,334	
医業費用	10,608,207,000	10,858,935,969	250,728,969	
給与費	4,736,719,000	4,760,022,803	23,303,803	職員数増及び人勧実施による増
材料費	3,175,451,000	3,361,366,760	185,915,760	化学療法増加による増
経費	1,593,727,000	1,598,752,802	5,025,802	CT等の管球交換の発生による増
減価償却費	937,806,000	997,102,554	59,296,554	
研究研修費	164,504,000	141,691,050	△ 22,812,950	
消費税及び地方消費税	25,717,000	17,698,395	△ 8,018,605	課税取引の減少による減
取得資産に係る控除対象外消費税償却	39,232,000	43,484,391	4,252,391	
控除対象外消費税	256,939,000	272,202,579	15,263,579	材料費の増加による増
営業外費用	182,057,000	176,183,367	△ 5,873,633	
臨時損失	1,000	8,213,614	8,212,614	H23年分の運営費負担金の返還による増
資本支出	2,183,424,000	1,602,088,749	△ 581,335,251	
建設改良費	1,134,303,000	552,969,621	△ 581,333,379	大規模修繕の翌年度以降への繰越による減
償還金	1,049,121,000	1,049,119,128	△ 1,872	
計	13,295,577,000	12,978,807,064	△ 316,769,936	

(注)損益計算の計上額と決算額の相違:上記数値は消費税等込みの金額を記載しております。

平成29年度決算報告書

【本部】

(単位:円)

区 分	当初予算額	決 算 額	差 額 (決算額-当初予算額)	備 考
収入				
営業収益	9,053,000	7,498,284	△ 1,554,716	
運営費負担金	8,621,000	7,404,000	△ 1,217,000	
資産見返運営費負担金戻入	0	0		
その他営業収益	432,000	94,284	△ 337,716	災害備蓄食料の購入計画の変更に伴う減
営業外収益	0	203,599	203,599	
運営費負担金	0	0	0	
その他営業外収益	0	203,599	203,599	
臨時利益	0	107,000	107,000	貸倒引当金の戻し入れによる増
目的積立金取崩額	0	0	0	
計	9,053,000	13,708,883	4,655,883	
支出				
営業費用	202,723,000	170,714,902	△ 32,008,098	
医業費用	4,039,000	1,058,292	△ 2,980,708	
経費	0	0	0	
研究研修費	4,039,000	1,058,292	△ 2,980,708	執行残による減
一般管理費	198,193,000	169,537,472	△ 28,655,528	
給与費	163,191,000	148,593,862	△ 14,597,138	職員数減による減
経費	27,430,000	13,265,388	△ 14,164,612	委託料等の減
減価償却費	7,572,000	7,678,222	106,222	
取得資産に係る控除対象外消費税償却	462,000	103,965	△ 358,035	
控除対象外消費税	29,000	15,173	△ 13,827	
営業外費用	30,000,000	248,721	△ 29,751,279	予備費の減
臨時損失	0	0	0	
資本支出	63,594,000	6,612,192	△ 56,981,808	
建設改良費	63,594,000	6,612,192	△ 56,981,808	
償還金	0	0	0	
その他資本支出	0	0	0	
計	296,317,000	177,575,815	△ 118,741,185	

(注) 損益計算の計上額と決算額の相違: 上記数値は消費税等込みの金額を記載しております。

業務実績報告書

平成29年度
(第7期事業年度)



自 平成29年 4月 1日

至 平成30年 3月31日

地方独立行政法人 宮城県立病院機構

目 次

I 地方独立行政法人宮城県立病院機構の概要

1 名称	1 ページ
2 所在地	1 ページ
3 法人設立年月日	1 ページ
4 設立団体	1 ページ
5 設立目的	1 ページ
6 業務の内容	1 ページ
7 役員の状況	1 ページ
8 組織の現況	2 ページ
9 組織図	3 ページ
10 職員の状況	4 ページ
11 資本金の状況	5 ページ
12 沿革	5 ページ

II 財務諸表の要約

1 要約した財務諸表	7 ページ
2 財務諸表の科目	8 ページ
3 財務情報	10 ページ

III 事業報告

1 事業を取り巻く環境	14 ページ
2 平成29年度の主な取組(重点事項の実施状況)	15 ページ
3 平成29年度の経営状況	22 ページ

I 地方独立行政法人宮城県立病院機構の概要

1 名 称

地方独立行政法人宮城県立病院機構

2 所 在 地

宮城県名取市愛島塩手字野田山４７－１

3 法人設立年月日

平成２３年４月１日

4 設立団体

宮城県

5 設立目的

地方独立行政法人宮城県立病院機構は、地方独立行政法人法（平成１５年法律第１１８号）に基づき、宮城県の医療政策として求められる高度・専門医療を提供するとともに、医療に関する調査及び研究を行い、県内における医療水準の向上を図り、もって県民の健康の確保及び増進に寄与することを目的とする。

6 業務の内容

- ① 医療の提供及びその附帯業務
- ② 医療に関する調査及び研究並びにその附帯業務
- ③ 医療に関する技術者の研修及びその附帯業務

7 役員の状況

（平成３０年３月３１日現在）

職 名	氏 名	任 期	備 考
理事長	西條 茂	自 平成27年4月 1日 至 平成31年3月31日	平成23年4月 宮城県立病院機構理事 平成23年4月 宮城県立がんセンター総長 平成27年4月 （現職）
副理事長	千葉 裕一	自 平成27年4月 1日 至 平成30年3月31日	平成22年4月 宮城県保健福祉部次長 平成23年4月 宮城県監査委員事務局長 平成25年4月 （現職）
理事	伊藤 康博	自 平成28年4月 1日 至 平成31年3月31日	平成26年4月 宮城県立循環器・呼吸病センター医療局長 平成28年4月 宮城県立循環器・呼吸病センター院長 平成28年4月 （現職）
理事	角藤 芳久	自 平成28年4月 1日 至 平成31年3月31日	平成23年4月 宮城県立精神医療センター副院長 平成28年4月 宮城県立精神医療センター院長 平成28年4月 （現職）
理事	片倉 隆一	自 平成27年4月 1日 至 平成30年3月31日	平成23年7月 宮城県立がんセンター院長 平成23年7月 （現職） 平成27年4月 宮城県立がんセンター総長
理事	小野寺 博義	自 平成27年4月 1日 至 平成30年3月31日	平成23年7月 宮城県立がんセンター副院長 平成27年4月 宮城県立がんセンター院長 平成27年4月 （現職）
理事 （非常勤）	近藤 俊之	自 平成27年4月 1日 至 平成31年3月31日	現 特定非営利活動法人VHJ機構理事 平成27年4月 （現職）
理事 （非常勤）	千葉 はるみ	自 平成27年4月 1日 至 平成31年3月31日	現 公立大学法人宮城大学看護学部特任教授 平成27年4月 （現職）
監事	小山 かほる	自 平成29年4月 1日 至 平成31年3月31日	現 オヤマ税理士法人 税理士・公認会計士 平成27年4月 （現職）
監事	佐藤 廣嗣	自 平成29年4月 1日 至 平成31年3月31日	前 宮城県土地開発公社理事長 平成29年4月 （現職）

8 組織の現況

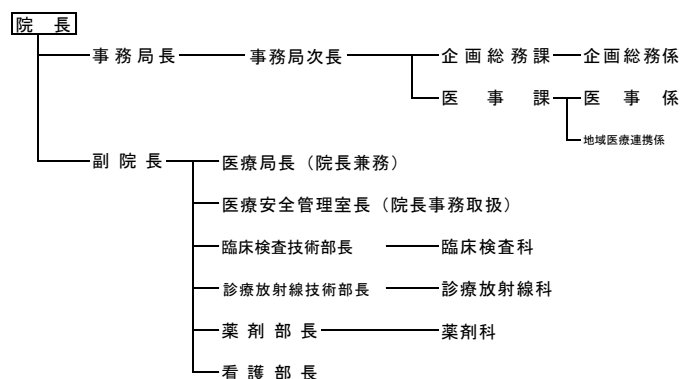
(平成30年3月31日現在)

区 分	循環器・呼吸器病センター	精神医療センター	がんセンター	本 部
所 在 地	〒989-4513 栗原市瀬峰根岸55-2 Tel.0228-38-3151	〒981-1231 名取市手倉田字山無番地 Tel.022-384-2236	〒981-1293 名取市愛島塩手字野田山47-1 Tel.022-384-3151	〒981-1239 名取市愛島塩手字野田山47-1 Tel.022-796-1042
開設年月日	昭和27年12月15日 (平成15年4月1日 瀬峰病院から改称) 昭和60年 本館竣工	昭和32年 4月12日 (平成15年4月1日 名取病院から改称) 昭和55年 本館竣工	昭和42年4月1日 (平成5年4月1日 成人病センターから改称) 平成4年 本館竣工	
診療科目	循環器科, 呼吸器科, 心臓血管外科, 呼吸器 外科, 消化器科, 放射 線科	精神科, 児童精神科, 歯科	循環器内科, 糖尿病・代謝内 科, 血液内科, 腫瘍内科, 呼 吸器内科, 呼吸器外科, 消化 器内科, 消化器外科, 乳腺外 科, 整形外科, 形成外科, 脳 神経外科, 泌尿器科, 婦人 科, 眼科, 頭頸部外科, 頭頸 部内科, 放射線診断科, 放射 線治療科, 麻酔科, 病理診断 科, 緩和ケア内科, 歯科, 臨 床検査科	
病 床 数	一般病床 90床 (うち休床40床) 結核病床 50床	精神病床 258床 (うち救急病床8床, 結核合併病床2床)	一般病床 383床 (うち緩和ケア病棟 25床)	
入院基本料 (施設基準)	一般病棟 一般病棟入院基本料 (7対1入院基本料) 感染病棟 結核病棟入院基本料 (10対1入院基本料)	精神病棟 精神病棟入院基本料 (15対1入院基本料) 精神科救急入院料Ⅰ 児童思春期精神科入院 医療管理料	一般病棟 専門病院入院基本料 (7対1入院基本料) (10対1入院基本料) 緩和ケア病棟 緩和ケア病棟入院料	
主要職員	院 長 伊 藤 康 博 副院長 平 潟 洋 一 臨床検査 技術部長 氏 家 雪 乃 診療放射線 技術部長 前 澤 裕 道 薬剤部長 小 坂 卓 哉 看護部長 畠 山 純 子 事務局長 山 越 勝 彦	院 長 角 藤 芳 久 副院長 船 越 俊 一 医療局長 大 野 高 志 社会生活 支援部長 佐 竹 嘉 裕 看護部長 齋 藤 弘 子 事務局長 橋 浦 哲	総 長 片 倉 隆 一 院 長 小野寺 博義 研究所長 島 礼 副院長 藤 谷 恒 明 副院長 山 田 秀 和 医療局長 松 浦 一 登 臨床検査 技術部長 泉 澤 淳 子 診療放射線 技術部長 佐 藤 益 弘 薬剤部長 高 村 千 津 子 看護部長 星 久 美 事務局長 相 馬 敬 喜	事務局長 東海林 清広 看護専門監 我妻 代志子

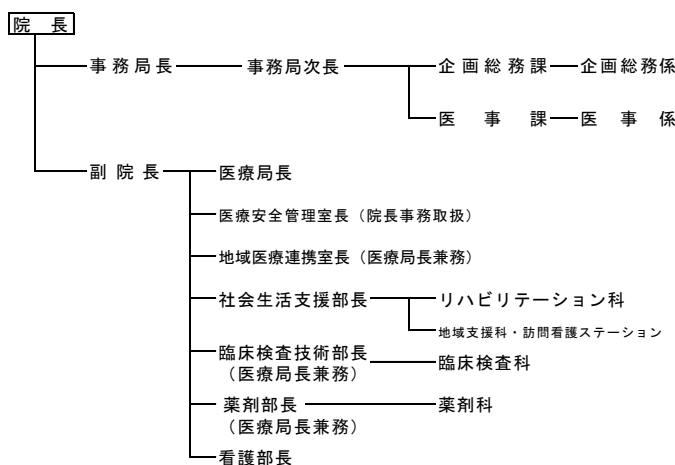
9 組織図

(平成30年3月31日現在)

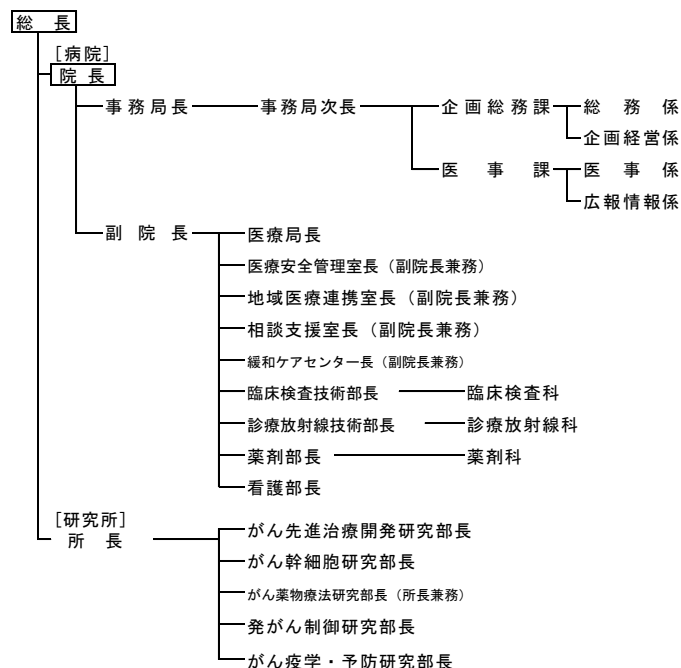
【循環器・呼吸器病
センター】



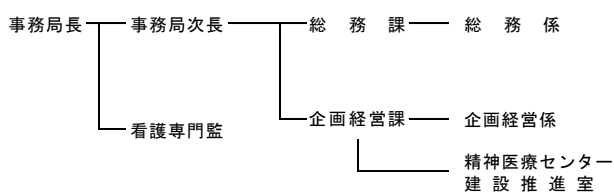
【精神医療センター】



【がんセンター】



【本部】



10 職員の状況

(平成30年3月31日現在)

職 種 等		循環器・呼吸器 病センター			精神医療セン ター			がんセンター			本 部			計		
		前 年 度 末 現 員 (イ)	決 算 年 度 末 現 員 (ロ)	増 減 (ロ－ イ)	前 年 度 末 現 員 (イ)	決 算 年 度 末 現 員 (ロ)	増 減 (ロ－ イ)	前 年 度 末 現 員 (イ)	決 算 年 度 末 現 員 (ロ)	増 減 (ロ－ イ)	前 年 度 末 現 員 (イ)	決 算 年 度 末 現 員 (ロ)	増 減 (ロ－ イ)	前 年 度 末 現 員 (イ)	決 算 年 度 末 現 員 (ロ)	増 減 (ロ－ イ)
理 事 長 ・ 副 理 事 長				人 0			人 0			人 0	2	2	人 0	2	2	人 0
医 師		6	7	1	19	19	0	78	78	0			0	103	104	1
看護 職 員	看護 師	73	57	△ 16	146	147	1	319	318	△ 1	1	1	0	539	523	△ 16
	准 看護 師	0	0	0	2	2	0			0			0	2	2	0
	看護 助手			0			0			0			0	0	0	0
	計	73	57	△ 16	148	149	1	319	318	△ 1	1	1	0	541	525	△ 16
医 療 技 術 職 員	薬 剤 師	6	5	△ 1	6	6	0	24	23	△ 1			0	36	34	△ 2
	診療放射線技師	9	8	△ 1			0	25	25	0			0	34	33	△ 1
	臨床検査技師	8	6	△ 2	3	2	△ 1	21	23	2			0	32	31	△ 1
	保健 師			0	1	1	0			0			0	1	1	0
	臨床心理士			0	4	4	0	1	1	0			0	5	5	0
	作業・理学療法士	1	1	0	5	5	0	2	3	1			0	8	9	1
	臨床工学技士	3	3	0			0	3	3	0			0	6	6	0
	医療ソーシャルワーカー			0			0	2	2	0			0	2	2	0
	精神保健福祉士			0	8	8	0			0			0	8	8	0
	栄養 士	1	1	0	3	2	△ 1	2	3	1			0	6	6	0
	化 学			0			0	2	2	0			0	2	2	0
	研 究			0			0	3	3	0			0	3	3	0
	歯科衛生士							0	0	0				0	0	0
	言語聴覚士							1	1	0				1	1	0
	試験検査補助			0			0	1	0	△ 1			0	1	0	△ 1
	計	28	24	△ 4	30	28	△ 2	87	89	2	0	0	0	145	141	△ 4
事 務 職 員		10	8	△ 2	11	11	0	17	18	1	17	15	△ 2	55	52	△ 3
合 計		117	96	△ 21	208	207	△ 1	501	503	2	20	18	△ 2	846	824	△ 22
宮城県からの派遣職員数 (上記の内数)		2	1	△ 1	2	2	0	2	2	0	7	6	△ 1	13	11	△ 2

1 1 資本金の状況

(単位：百万円)

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
県出資金	174	0	0	174
資本剰余金	0	0	0	0
利益剰余金 (△繰越欠損金)	△ 277	0	477	△ 754
純資産合計	△ 103	0	477	△ 580

(注) 計数はそれぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは一致しないものがあります。

1 2 沿革

年月日	変遷等の概要
23. 4. 1	循環器・呼吸器病センター，精神医療センター，がんセンター 地方独立行政法人宮城県立病院機構へ移行 機構 理事長 初代 菅村 和夫 がんセンター 8代総長 西條 茂（院長，7代研究所長を兼務）
23. 7. 1	精神医療センター ユース外来開始 がんセンター 11代院長 片倉 隆一
23. 9. 1	がんセンター 歯科開設
24. 1. 1	循環器・呼吸器病センター 7代院長 近内 利明
24. 3. 2	循環器・呼吸器病センター病院機能評価（Ver. 6. 0）認定
25. 6. 17	がんセンター 病院機能評価（Ver. 6. 0）認定
25. 8. 1	精神医療センター 北2病棟個室化に伴う病床数変更（286床→271床）
25. 10. 1	がんセンター 集学治療棟開棟
26. 2. 1	精神医療センター 北2病棟 精神科救急入院料（スーパー救急）承認
26. 4. 1	精神医療センター 児童精神科開設 がんセンター 8代研究所長 島 礼
26. 4. 15	精神医療センター 訪問看護ステーション「ゆとり」開設
26. 5. 5	がんセンター 電子カルテシステム運用開始
26. 5. 7	がんセンター 診療科目変更（循環器内科，糖尿病・代謝内科，血液内科，腫瘍内科，呼吸器内科，呼吸器外科，消化器内科，消化器外科，乳腺外科，整形外科，形成外科，脳神経外科，泌尿器科，婦人科，眼科，頭頸部外科，放射線診断科，放射線治療科，麻酔科，病理診断科，緩和ケア内科，歯科，臨床検査科）
27. 3. 31	がんセンター 都道府県がん診療連携拠点病院指定
27. 4. 1	機構 2代理事長 西条 茂 がんセンター 9代総長 片倉 隆一 がんセンター 12代院長 小野寺 博義 循環器・呼吸器病センター 一般病床数変更（150床→90床）（30床休止） 循環器・呼吸器病センター 診療科目変更（呼吸器科・循環器科・心臓血管外科・呼吸器外科・消化器科・放射線科） 精神医療センター 地域医療連携室設置
27. 4. 15	精神医療センター 東2病棟閉鎖化（全病棟閉鎖化）
27. 7. 1	がんセンター 総合がん検診開始

27.11.1	精神医療センター 児童思春期ユニット開設に伴う病床数変更 (271床→258床)
28. 1. 1	精神医療センター 児童・思春期精神科入院医療管理料承認
28. 4. 1	循環器・呼吸器病センター 8代院長 伊藤 康博 精神医療センター 6代院長 角藤 芳久
28.10.1	がんセンター 診療報酬点数表変更(専門病院入院基本料 7 対 1, 10 対 1 の病棟群による届出)
29. 5.16	循環器・呼吸器病センター 病棟再編(40床休止)

Ⅱ 財務諸表の要約

1 要約した財務諸表

①貸借対照表

(単位：百万円)

資産の部	金額	負債の部	金額
固定資産	11,683	固定負債	12,058
有形固定資産	11,121	長期借入金	6,659
無形固定資産	196	引当金	5,097
投資その他の資産	367	リース債務	150
流動資産	3,312	その他	151
現金及び預金	1,177	流動負債	3,517
有価証券	0	1年以内返済長期借入金	1,367
医業未収金	1,812	未払金	1,285
棚卸資産	129	1年以内支払リース債務	113
その他	194	その他	751
		負債合計	15,575
		純資産の部	金額
		資本金	174
		資本剰余金	0
		繰越欠損金	△ 754
		純資産合計	△ 580
資産合計	14,995	負債純資産合計	14,995

(注) 係数はそれぞれ四捨五入によっているので、端数において合計と一致しないものがあります。

②損益計算書

(単位：百万円)

科 目	金 額
経常収益(A)	15,702
診療業務収益	11,450
運営費負担金収益	4,101
その他経常収益	151
経常費用(B)	16,159
診療業務費	15,270
一般管理費	168
その他経常費用	721
臨時損益(C)	△ 19
当期純損益(A-B+C)	△ 477

(注) 係数はそれぞれ四捨五入によっているので、端数において合計と一致しないものがあります。

③ キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	金 額
I 業務活動によるキャッシュ・フロー	217
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 326
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 799
IV 資金増加額(又は減少額)	△ 907
V 資金期首残高	2,084
VI 資金期末残高	1,177

(注) 係数はそれぞれ四捨五入によっているので、端数において合計と一致しないものがあります。

④ 行政サービス実施コスト計算書

(単位：百万円)

科 目	金 額
I 業務費用	4,652
損益計算書上の費用	16,161
(控除)自己収入等	△ 11,509
II 引当外退職給付増加見積額	10
III 機会費用	13
IV 行政サービス実施コスト	4,674

(注) 係数はそれぞれ四捨五入によっているので、端数において合計と一致しないものがあります。

2 財務諸表の科目

① 貸借対照表

固定資産

有形固定資産 : 土地, 建物, 医療機器など

無形固定資産 : ソフトウェア, 電話加入権など

投資その他の資産 : 満期保有目的債権など

流動資産

現金及び預金 : 現金, 預金

有価証券 : 譲渡性預金, 1年以内に満期が到来する満期保有目的債権など

医業未収金 : 医業収益に対する未収金

棚卸資産 : 医薬品, 診療材料など

固定負債

長期借入金 : 宮城県からの借入金

引当金 : 支給対象期間に基づき定期的に支給する役職員賞与に対する賞与引当金など

リース債務 : リース取引にかかる債務

流動負債

- 1年以内返済長期借入金 : 1年以内に返済期限が到来する長期借入金
- 未払金 : 医薬品, 診療材料, 医療機器購入などにかかる未払い債務
- 1年以内支払リース債務 : リース取引にかかる債務のうち, 1年以内に支払期限が到来する債務

純資産

- 資本金 : 宮城県からの出資金
- 資本剰余金 : 県から交付された施設費や補助金等を財源として取得した償却資産及びその他の資産損益外減価償却相当額の累計額又は損益外減損損失相当額の累計額
- 利益剰余金 : 業務に関連して発生した剰余金の累計額
- 繰越欠損金 : 業務に関連して発生した欠損金の累計額

②損益計算書

経常収益

- 診療業務収益 : 医業(入院・外来診療等)にかかる収益
- 運営費負担金収益 : 宮城県からの運営費負担金による収益

経常費用

- 診療業務費 : 医業(入院・外来診療等)に要する給与費, 材料費, 委託費, 減価償却費など
- 一般管理費 : 本部組織に係る給与費, 委託費など
- 臨時損益 : 固定資産の売却益など
- 臨時損失 : 固定資産の除却損など

③キャッシュ・フロー計算書

業務活動によるキャッシュ・フロー

通常の業務の実施に係る資金の状態を表す

投資活動によるキャッシュ・フロー

有価証券の売却による収入および取得による支出, 定期預金の戻入による収入及び預入による支出, 固定資産の取得による支出など

財務活動によるキャッシュ・フロー

長期借入金の借入による収入及び返済による支出, リース債務償還による支出など

④行政サービス実施コスト計算書

業務費用

損益計算書に計上される費用から、県等の財源によらない自己収入を控除したもの

引当外退職給付増加見積額

宮城県からの派遣職員に係る退職給付債務の増加見積額

機会費用

宮城県から無利子で調達している短期借入金に関して、市中金融機関から調達した場合に、通常負担すべき額として試算した金額

3 財務情報

(1) 財務諸表の概要

- ① 経常収益，経常費用，当期総損益，資産，負債，キャッシュ・フローなどの主要な財務データの経年比較・分析

(経常収益)

平成 29 年度の経常収益は 15,702 百万円と、前年度と比較して 232 百万円減（1.5%減）となっています。これは、前年度と比較して医業収益が 331 百万円減（2.8%減）となったことが主な要因です。

(経常費用)

平成 29 年度の経常費用は 16,159 百万円と、前年度と比較して 77 百万円減（0.5%減）となっています。これは、前年度と比較して給与費が 57 百万円減（0.7%減）となったことが主な要因です。

(当期総損益)

平成 29 年度の当期総損益は△477 百万円となり、前年度と比較して 176 百万円減（前年度は△301 百万円の当期総損失）となっています。これは、前年度と比較して経常損失が 155 百万円増となったことが主な要因です。

(資産)

平成 29 年度末現在の資産合計は 14,995 百万円と、前年度と比較して 1,581 百万円減（9.5%減）となっています。これは、現金及び預金等の流動資産が 863 百万円減（20.7%減）となったことが主な要因です。

(負債)

平成 29 年度末現在の負債合計は 15,575 百万円と、前年度と比較して 1,104 百万円減 (6.6%減) となっています。これは、前年度と比較して長期借入金、移行前地方債償還債務等の固定負債が 849 百万円減 (11.3%減) となったことが主な要因です。

(業務活動によるキャッシュ・フロー)

平成 29 年度の業務活動によるキャッシュ・フローは 217 百万円の収入となり、前年度と比較して 294 百万円の収入減 (57.4%減) となっています。これは、前年度と比較して医業収入が 549 百万円減 (4.6%減) となったことが主な要因です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

平成 29 年度の投資活動によるキャッシュ・フローは 326 百万円の支出となり、前年度と比較して 1,176 百万円の支出増 (138.3%増) となっています。これは、前年度と比較して有形固定資産の取得による支出額が 692 百万円増 (259.5%増) となったことが主な要因です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

平成 29 年度の財務活動によるキャッシュ・フローは 799 百万円の支出となり、前年度と比較して 656 百万円の支出増となっています。これは、前年度と比較して長期借入れによる収入が 630 百万円減 (54.9%減) となったことが主な要因です。

主要な財務データの経年比較

(単位：百万円)

区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
経常収益	15,260	15,555	15,618	15,934	15,702
経常費用	15,048	15,561	15,960	16,236	16,159
当期純利益〔又は(△)損失〕	227	28	△ 332	△ 301	△ 477
資産	17,484	17,274	16,229	16,576	14,995
負債	16,959	16,744	16,031	16,679	15,575
利益剰余金〔又は(△)繰越欠損金〕	351	356	23	△ 277	△ 754
業務活動によるキャッシュ・フロー	1,908	1,762	251	511	217
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,577	△ 1,565	266	850	△ 326
財務活動によるキャッシュ・フロー	276	△ 633	△ 900	△ 143	△ 799
資金期末残高	1,685	1,249	866	2,084	1,177

(注) 係数はそれぞれ四捨五入によっているので、端数において合計と一致しないものがあります。

(2) 重要な施設等の整備等の状況

- ① 当事業年度中に建替整備が完了した主要施設等
特になし

- ② 当事業年度において建替整備中の主要施設等
特になし

- ③ 当事業年度に処分した主要施設等
特になし

(3) 予算及び決算の概要

(単位：百万円)

区分	平成25年度		平成26年度		平成27年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
収入						
診療業務収入	11,852	10,955	11,247	11,190	11,404	11,400
運営費負担金収入	4,026	4,182	4,222	4,253	4,101	4,097
その他収益的収入	123	162	167	185	178	171
長期借入金収入	2,451	1,643	1,100	852	893	452
その他資本的収入	40	45	0	13	0	9
計	18,492	16,987	16,736	16,493	16,576	16,128
支出						
診療業務費用	15,239	14,385	15,038	14,841	15,088	15,220
一般管理費	241	214	234	201	222	200
その他収益的支出	520	473	603	557	609	579
建設改良費	2,560	1,788	1,282	1,013	1,137	638
借入金償還金	1,275	1,275	1,372	1,372	1,237	1,237
その他資本的支出	0	0	0	100	0	0
計	19,834	18,135	18,528	18,084	18,291	17,874

区分	平成28年度		平成29年度	
	予算	決算	予算	決算
収入				
診療業務収入	13,126	11,809	12,077	11,481
運営費負担金収入	4,017	4,000	4,100	4,101
その他収益的収入	182	164	149	159
建設改良費	2,152	1,148	1,369	518
その他資本的収入	0	0	0	0
計	19,477	17,121	17,695	16,258
支出				
診療業務費用	16,412	15,493	15,493	15,455
一般管理費	210	175	198	170
その他収益的支出	689	606	610	593
施設整備費	2,426	1,255	1,519	650
借入金償還金	1,173	1,173	1,201	1,201
その他資本的支出	0	0	0	0
計	20,910	18,702	19,021	18,068

(注) 係数はそれぞれ四捨五入によっているので、端数において合計と一致しないものがあります。

(4) 経費削減効果及び効率化に関する目標及びその達成状況

① 経費削減及び効率化目標

当機構においては、具体的な数値目標は設定しておりませんでした。が、医療機器等における多様な調達方法の検討、医薬品、診療材料、医療消耗備品における、品目毎の使用状況、調達状況等の管理、後発医薬品への切替の検討等に努め、経費の削減に努めております。

② 経費削減及び効率化目標の達成度合いを測る財務諸表等の科目（費用等）の経年比較

（単位：百万円）

区分	平成26年度		当中期目標期間					
	金額	比率	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
			金額	比率	金額	比率	金額	比率
医業費用	14,841	100%	15,220	102.5%	15,493	104.4%	15,455	104.1%
うち経費	2,686	100%	2,635	98.1%	2,521	93.9%	2,617	97.4%
うち減価償却費	1,439	100%	1,483	103.1%	1,335	92.8%	1,372	95.4%
一般管理費	201	100%	200	99.7%	175	86.9%	170	84.4%
うち経費	17	100%	15	89.1%	16	94.6%	13	80.3%
うち減価償却費	8	100%	8	100.9%	7	91.3%	8	99.8%

（注）係数はそれぞれ四捨五入によっているので、端数において合計と一致しないものがあります。

（５）事業の説明

収益構造

① 財源内訳

当機構の経常収益は、15,702百万円で、その内訳は、運営費負担金収益3,296百万円（収益の21.0%）、資産見返運営費負担金収益805百万円（収益の5.1%）、診療報酬等の自己収入11,450百万円（収益の70.6%）となります。

② 財源情報及び業務実績の説明

診療事業は、「医療の質」と「経営の質」を意識した病院運営を行うとともに、県立病院機構職員一人ひとりが高度・専門医療を担う役割を自覚し、安全かつ確実な医療の提供に努めてまいりました。

事業の財源は、事務費及び事業費については、医業収益11,450百万円、運営費負担金収益3,296百万円、資産見返り運営費負担金収益805百万円となっています。

事業に対する主な費用は、給与費7,871百万円、材料費3,579百万円、委託費などの経費2,447百万円、減価償却費1,372百万円となっています。

Ⅲ 事業報告

1 事業を取り巻く環境

循環器・呼吸器病センター，精神医療センター，がんセンターの宮城県立3病院は，県の医療政策として求められる高度・専門医療を提供するとともに，医療に関する調査及び研究を行い，県内における医療水準の向上を図り，もって県民の健康の確保及び増進に寄与することを目的としております。

医療ニーズの多様化や国の医療制度の変化への対応など，県立病院を取り巻く環境が厳しさを増していることから，医療環境の変化や経営状況に応じた柔軟で弾力的な病院運営を行い，より一層の自律性，機動性が発揮できるよう，平成23年4月に地方独立行政法人に移行し，職員が一丸となって業務の遂行に当たっております。

病院の概要

(平成30年3月31日現在)

病院名	所在地	病床数	診療科	開院年月日	備考
循環器・呼吸器病センター	栗原市	140 床	循環器科，呼吸器科，心臓血管外科，呼吸器外科，消化器科，放射線科	S27.12.15	H15.4.1 瀬峰病院から改称
精神医療センター	名取市	258 床	精神科，児童精神科，歯科	S32.4.12	H15.4.1 名取病院から改称
がんセンター	名取市	383 床	循環器内科，糖尿病・代謝内科，血液内科，腫瘍内科，呼吸器内科，呼吸器外科，消化器内科，消化器外科，乳腺外科，整形外科，形成外科，脳神経外科，泌尿器科，婦人科，眼科，頭頸部外科，頭頸部内科，放射線診断科，放射線治療科，麻酔科，病理診断科，緩和ケア内科，歯科，臨床検査科	S42.4.1	H5.4.1 成人病センターから改称

法人化後においても引き続き医療の質を高め，民間の医療機関では対応が難しい政策医療や高度・専門医療を提供するとともに，経営の安定に努め，県立病院としての役割を果たしながら，効率的な運営を図っていく必要があります。

2 平成29年度の主な取組（重点事項の実施状況）

法人化7年目となる平成29年度においても、変化する医療環境や厳しさを増す経営環境に的確に対応し、「医療の質」の向上に取り組むことにより、患者とその家族が納得し、安心・信頼して診療を受けられる病院であり続けることを目指しました。

（1）質の高い医療の提供

イ 循環器・呼吸器病センター

県北地域のセーフティネットの一角を担う県立病院として、循環器系及び呼吸器系疾患を中心とした良質な医療サービスの提供に努め、救急告示病院として24時間365日救急体制の中で、救急患者186人〔前年度386人〕に対応しました。

心臓血管外科及び呼吸器外科については、大崎・栗原地域の医療提供体制の再編に合わせ、平成26年6月から全身麻酔を使う手術を廃止し、外来患者の診療を主な業務としています。

呼吸器科については、県内唯一の結核入院患者の受入機関として適切な結核医療の提供に努めながら、地域連携カンファレンスを毎月開催するとともに地域連携クリティカルパス（平成24年度導入）の見直しを行い、地域医療機関との連携強化に努めました。

また、重症呼吸器感染症患者に適切に対応するため、感染特区職員配置など院内体制の整備とともに、東北大学や所轄保健所等との連携の強化や職員の専門性を高めるための研修等を実施しました。

その他、入院時栄養食事指導や病棟における服薬指導の充実、「糖尿病教室」の定期開催など、各部署において質の高い医療の提供を継続すると共に、平成29年9月に「第3回健康まつり」を開催し、地域住民を対象とした講演や健康相談を行いました。

なお、高度医療機器の効率的活用を図るため、地域医療機関等に対するPR活動に取り組み、検査依頼件数636件〔前年度528件〕に対応しました。

さらに、心大血管疾患リハビリテーションについては、入院患者の在宅復帰率の向上を図ると共に、心臓リハビリ無料体験会などの実施により外来心臓リハビリテーションの充実に努めました。

ロ 精神医療センター

多職種の職員が出席し、毎朝開催される総合診療会議や毎週月曜日に行われる院長チームラウンドでのバックアップ病棟を含むベッド調整により、精神科救急入院料算定病棟（北1及び北2病棟）の効率的な運用を図り、

民間病院では対応が困難な多様な患者の受入に努めるとともに、多職種からなる救急・急性期医療プロジェクトチームにおいて、急性期行動制限クリニカルパスの検討を行い、平成30年1月より運用を開始しました。

精神科救急24時間365日対応については、県との調整が整い、当センターを中心に平成30年度中に開始される予定です。

また、地域医療連携室において、関係機関との連絡調整の体制を整備しているほか総合病院との連携協定に基づく円滑な患者対応に努めました。また、グループホームなどへの協力医療機関として協定も締結しています。

その他、自立生活支援事業において、地域ケア会議の開催等を通じ、医師を含めた多職種チームと地域の支援スタッフが共に患者の自立生活に向けた計画的支援を行えるよう連携を図りました。

児童思春期医療の提供に関しては、児童担当医師を増員し、平成29年8月からは外来診療枠を4枠から5枠に増枠し、待ち時間短縮に取り組むなど、積極的な受入を行うとともに、地域医療連携室において、地域の拠点施設（子ども総合センター・精神保健福祉センター）との連携を図っているほか、教育機関からの要望に応え、セミナーや病棟見学会を実施しました。

ハ ガンセンター

がんの種類や患者の状態に応じた最適な医療を提供するため、手術、放射線療法、化学療法を組み合わせた集学的治療の一層の促進を図りました。

特に化学療法については、前年と比べて多くの患者を受け入れ、取組の強化に努めました。

また、がん予防、早期発見、早期治療の重要性を県民に知ってもらうため、「がん何でも講座」などの啓発活動に取り組むとともに、県内の公民館等へ向けたPR活動を行いました。

さらに、悪性腫瘍の発見率向上のため、新たにPET検査のみを対象とした料金を設定しました。

(2) 安全・安心な医療の提供

イ 循環器・呼吸器病センター

医療安全対策に関する院内研修を定期的を実施しており、特に「医療機器取扱安全研修」については、関係職員（医師含む）が全員研修受講できるように実施体制の整備（実績回数：年間11回）に努めました。

また、医療安全管理マニュアルの見直し、ヒヤリハット事例等の分析・改善策検討を行い、全職員に周知徹底するなど、医療事故の発生防止に努めました。

ロ 精神医療センター

医療従事者を対象とした研修会を開催し、資質向上に努めるとともに、各部署から報告のあったヒヤリハット事例等を基に、毎週医療安全カンファランスで情報共有を図り、事故防止に努めたほか、医療安全部門会議で現場を確認、分析し、その内容を医療安全管理委員会に報告、周知し情報の共有に努めました。

さらに、医療安全管理指針及び医療安全管理マニュアルの大幅な修正作業を行いました。

ハ がんセンター

毎週開催される医療安全管理室会議において、各部署から提出されるインシデント事例について、必要に応じて現場ラウンドによる現状確認なども行ったうえで、要因分析と対策案の検討を行いました。この結果は医療安全管理委員会に報告するとともに、これらの情報・分析内容を基に、医療安全マニュアルを改訂し、全職員に周知徹底しました。

そのほか、医療安全管理室主催の研修会を定期的を実施して、職員の医療安全に関する資質の向上を図り、安全・安心な医療の提供に努めました。

(3) 患者や家族の視点に立った医療の提供

イ 循環器・呼吸器病センター

患者・家族からの医療福祉相談に応じ、医療面はもとより経済的な問題等の生活面も含めた相談に対応するとともに、紹介患者の受入れ、入院患者の退院調整や他の医療機関・施設への転院調整にも適切に対応するなど、信頼・安心できる相談体制の充実に努めました。

ロ 精神医療センター

入院時に医師及び看護師から病状や入院期間、看護支援内容などの説明を行いました。特に行動制限を伴う患者や家族へは、より丁寧な説明に努めました。

また、施設・設備が老朽化しているため、優先順位をつけて計画的に整備を行いました。病院利用者からの意見・要望については随時対応することとしており、デイケア作業室に防風カーテンとエアコンを追加設置するなど、快適な院内環境の整備に努めました。

ハ がんセンター

新たに情報広報係を設置し、がん相談支援センターだよりなどの広報の強化を図りました。また、ハローワークと連携した就労相談を実施し、が

ん患者・ご家族のニーズをタイムリーに捉え、適切な情報提供と就労支援に努めました。

(4) 人材の確保と育成

イ 医師の確保と育成

(イ) 循環器・呼吸器病センター

深刻な医師不足については、特に救急医療や感染症患者に対応する循環器科，呼吸器科医師等の確保が喫緊の課題となっていました。東北大学医学部等関係機関への働きかけを強化したことにより，平成25年度末には常勤医師17人体制を構築することができました。しかし，平成26年度に入り，大崎・栗原地域の医療提供体制の再編等に伴い医師の退職が続き，常勤医師は7人（平成30年3月現在）まで減少しました。

なお，消化器科については，東北大学の支援により，医師1人（非常勤）の診療体制を確保しました。

看護職員の資質向上については，認定看護管理者ファーストレベル教育課程を1人が受講したほか，新任看護職員研修プログラムによる育成や，クリニカルラダーとしてレベルⅠからレベルⅤまでのラダーを設定するなど，それぞれのレベル毎の研修により専門技術・臨床実践能力の習得・習熟を図り，看護体制の充実に努めました。

(ロ) 精神医療センター

当センターと東北大学大学院医学部との連携により3人の医師を採用しました。

学会，精神保健指定医資格取得のための研修会等への参加について支援を行いました。

認定看護師，専門看護師等の資格取得や学会等の参加を奨励・支援するほか，院内研修プログラムについては，講義内容の充実に図り，看護職員全員の学びを深めるため，eラーニングを導入しており，さらに精神科の専門性を高めるため，精神科認定看護師会を組織し，他の看護師を支援する活動等を行いました。

東北大学医学部の学生143人のほか，宮城大学を始めとする看護師養成機関から看護学生148人，精神保健福祉士等を目指す学生5人などの実習・研修生を受け入れました。

(ハ) がんセンター

東北大学等と連携を図り，医療環境や業務量の変化に応じて医師の確

保,配置を行うとともに,レジデントの積極的な受け入れを行いました。
また,東北大学大学院との連携講座(医学系研究科がん医科学講座)においては19人の学生を受け入れ,研究・教育の強化に取り組みました。

ロ 看護師の確保と育成

看護師採用試験の応募者確保対策として,民間の就職情報サイトへの登録,県内の合同就職説明会への参加,ホームページ上に各病院の若手看護師の活躍ぶりを紹介するなど積極的に広報活動を行いました。また,県内の看護師養成機関を訪問し,採用情報の広報及び学生の動向等の情報収集を行ったほか,機構主催での説明会及びインターンシップを開催しました。

看護師の資質向上としては,専門看護師,認定看護師の資格取得のための支援や院内外における研修会,学会への参加を積極的に推進し,看護師の資質向上を図りました。

ハ 医療従事者の確保と育成

医療従事者の人材を確保するため,就職説明会へ参加するなどして,応募者確保に努めました。また,医療環境や業務量の変化等に応じた適正な体制を維持するため,柔軟な採用を行いました。

医療従事者の資質向上としては,各種認定資格の取得や学会等の参加を奨励・支援したほか,3病院の医療従事者を中心に,様々な職種が業務発表を行う医療業務担当者合同研修会を開催し,職員の資質向上を図りました。

ニ 事務職員の確保と育成

事務職員の採用試験を実施し,法人事務職員を確保して計画的な採用を行いました。

また,事務職員の資質向上のため,事務部門部会を開催し,個別業務の検討等を行いました。事務職員を対象とした勉強会を定期的の実施したほか,病院特有の事務や運営について精通した人材を育成するための研修プログラムとして,診療情報管理士の資格取得への支援を行いました。

ホ その他

その他,新任職員研修等を実施したほか,東北自治研修所が行う研修の受講について奨励しました。

（５）災害等への対応

大規模な災害等が発生した場合に、必要とされる医療を迅速かつ適切に提供するため、医療機関との医薬品供給等に関する協定締結や水・食料等の備蓄、並びに本部及び３病院の通信手段の確保に努めました。また、防災訓練を本部及び３病院で実施しました。

循環器・呼吸器病センターにおいては、消防計画に基づく防災訓練を行い、全部署において災害発生時の対応を確認するなど、防災・減災対策の周知徹底を図りました。また、大規模な災害の発生に備え、近隣の医療機関（国立療養所東北新生園）と「大規模災害時における医薬品の供給等に関する協定」を締結するなど、災害時でも医療を提供できる体制を整備しております。

（６）その他の重要な取組

イ 循環器・呼吸器病センター

地域医療の質の向上と情報の共有を図るため、地域の医療機関や介護施設等と講演会（研修会）などを開催し、地域の医療機関等とより強固な信頼関係の構築に努めると共に、平成２７年度に栗原・登米圏域の医療・福祉・在宅の栄養管理連携強化を目的として作成した「とめくり食形態マップ」を２９施設との間で運用しております。

また、地域医療連携だより（機関紙「Semine」）の定期発行、地域医療機関への訪問及びアンケート等を実施し、紹介等に必要な情報提供を推進するとともに地域の医療ニーズ等の把握に努め、連携を強化することによって、紹介・逆紹介の促進を図りました。

さらに、急性期から回復期・維持期へと切れ目のない結核医療を提供できるよう、地域連携カンファレンスを毎月開催するとともに地域連携クリティカルパス（平成２４年度導入）の運用を行い、保健所等関係機関との連携に努めました。

ロ 精神医療センター

機構本部を中心に早期の病院建替えに向け、新たな建設候補地の選定に努めました。

新病院の建設計画の延期に伴い、現病院については平成３０年度に、建築設備の劣化度調査を実施する予定です。

ハ がんセンター

良質な医療の提供や医療水準の維持向上、研究環境の整備を図るため、医療機器・研究機器の計画的な導入・更新を行いました。

施設に関しては、平成２７年度に策定した宮城県立がんセンター中長期

保全計画書に基づき、屋外防水改修工事等の保全工事を実施しました。

また、病室修繕及び改修工事により、経年劣化している特別室の一部をリフォームし、入院患者の療養環境の改善と併せて収益の増収を図りました。良質な医療の提供や医療水準の維持向上、研究環境の整備を図るため、高精度放射線治療システム等の医療機器・研究機器の計画的な導入・更新を行いました。

3 平成29年度の経営状況

イ 循環器・呼吸器病センター

入院について、入院収益は241,601千円となり、当初予算と比較し234,900千円の減となりました。これは、主に機能移管に伴う循環器科の機能縮小(ペースメーカー手術およびカテーテル治療の停止)等の影響により年間延入院患者数が6,382人の減となったこと、同じく一般病床の診療単価が10,063円の減となったことによるものです。この結果、病床稼働率は当初予算と比較し8.0ポイントの減となっております。

外来についても、入院収益と同様の理由により、外来収益は217,884千円となり、当初予算と比較し66,066千円の減となりました。

なお、営業費用については、当初予算と比較すると322,095千円の減となりました。これは、職員数の減少に伴う給与費の減のほか、高額材料の使用の減少や、薬品と診療材料の購入単価低減に伴う材料費の減、入院・外来患者の減少に伴う給食費等の委託費の減等によるものです。

この結果、政策医療に対する宮城県からの運営費負担金等の収益を含めた営業損失は378,092千円、これに支払利息などの営業外費用を加えた当年度純損失は371,802千円となり、当初予算と比較すると26,942千円の改善となりました。

図表1【決算報告書(予算対比、税込)】循環器・呼吸器病センター (単位:千円)

科 目	H29予算(ア)	H29決算(イ)	増減(イ)-(ア)	増減率
I 営業収益(A)	1,760,283	1,459,085	△ 301,198	△ 17.1%
1 医業収益	766,112	467,361	△ 298,751	△ 39.0%
(1)入院収益	476,501	241,601	△ 234,900	△ 49.3%
(2)外来収益	283,950	217,884	△ 66,066	△ 23.3%
(3)その他医業収益	5,661	7,876	2,215	39.1%
2 運営費負担金収益	929,763	927,408	△ 2,355	△ 0.3%
3 資産見返運営費負担金戻入	61,613	61,613	0	0.0%
4 その他	2,795	2,703	△ 92	△ 3.3%
II 営業費用(B)	2,159,272	1,837,177	△ 322,095	△ 14.9%
1 医業費用	2,134,291	1,821,344	△ 312,947	△ 14.7%
(1)給与費	1,113,580	969,803	△ 143,777	△ 12.9%
(2)材料費	174,907	73,958	△ 100,949	△ 57.7%
(3)経費	598,060	533,485	△ 64,575	△ 10.8%
(4)減価償却費	241,021	239,354	△ 1,667	△ 0.7%
(5)研究研修費	6,723	4,743	△ 1,980	△ 29.5%
2 一般管理費	0	0	0	0.0%
3 その他	24,981	15,833	△ 9,148	△ 36.6%
営業損(△)益	△ 398,989	△ 378,092	20,897	5.2%
III 営業外収益(D)	13,487	29,423	15,936	118.2%
1 運営費負担金収益	10,732	10,732	0	0.0%
2 その他	2,755	18,691	15,936	578.4%
IV 営業外費用(E)	12,726	12,368	△ 358	△ 2.8%
(1)財務費用(支払利息)	12,665	12,346	△ 319	△ 2.5%
(2)その他	61	22	△ 39	△ 63.4%
経常損(△)益	△ 398,228	△ 361,038	37,190	9.3%
III 臨時利益(G)	0	1,710	1,710	0.0%
VI 臨時損失(H)	516	12,474	11,958	2317.5%
当年度純損(△)益	△ 398,744	△ 371,802	26,942	6.8%
目的積立金取崩額	0	0	0	0.0%
当年度総損(△)益	△ 398,744	△ 371,802	26,942	6.8%
【資本収支表】				
I 資本収入(a)	68,900	52,800	△ 16,100	△ 23.4%
(1)長期借入金	68,900	52,800	△ 16,100	△ 23.4%
(2)その他	0	0	0	0.0%
II 資本支出(b)	198,275	177,791	△ 20,484	△ 10.3%
(1)建設改良費	91,091	70,608	△ 20,483	△ 22.5%
(2)償還金	107,184	107,183	△ 1	△ 0.0%
(3)その他	0	0	0	0.0%
差引(a)-(b)	△ 129,375	△ 124,991	4,384	3.4%

(注)表中の数値について、個々に四捨五入をしている関係上、合計額及び差引額が一致しない場合がある。

図表2 診療実績調(税込)

平成30年3月31日現在

区 分		H29 決算 (7)	H29 当初 予算 (ｲ)	中期計画	H28 決算	当初予算 対比 アーイ	当初予算 対比
入院	年間入院患者延数 (人)	7,043	10,950	20,427	13,425	△3,907	64.3%
	金 額 (千円)	241,601	476,501	841,539	568,136	△234,900	50.7%
	患者一人当たりの診療収入	34,303 円	43,516 円	41,197 円	42,319 円	△9,213 円	78.8%
	平均在院日数 (日)	18.1	—	—	14.7		
	病床稼働率 (%)	19.3%	27.3%	50.9%	33.4%		70.7%
外来	年間外来患者延数 (人)	14,532	19,520	23,604	19,255	△4,988	74.4%
	金 額 (千円)	217,884	283,950	429,396	280,535	△66,066	76.7%
	患者一人当たりの診療収入	14,994 円	14,547 円	18,191 円	14,569 円	447 円	103.1%
	平均通院日数 (日)	9.0	—	—	9.2		
計	延べ患者数 (人)	21,575	30,470	44,031	32,680	△8,895	70.8%
	金 額 (千円)	459,485	760,451	1,270,935	848,669	△300,966	60.4%

※許可病床140床、稼働病床100床

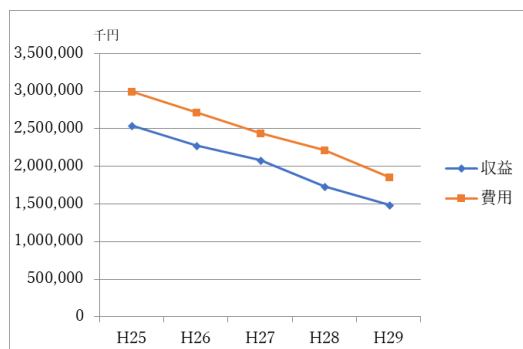
- ・入院診療日数 29年度 365日 28年度 365日
- ・外来診療日数 29年度 244日 28年度 243日
- ・病床稼働率 年間入院患者延数÷年延病床数(稼働病床100床×暦日数)×100
- ・入院患者一人当たりの診療収入 入院収益÷年間入院患者延数
- ・外来患者一人当たりの診療収入 外来収益÷年間外来患者延数

図表3 予算額に対する比較表(税込)

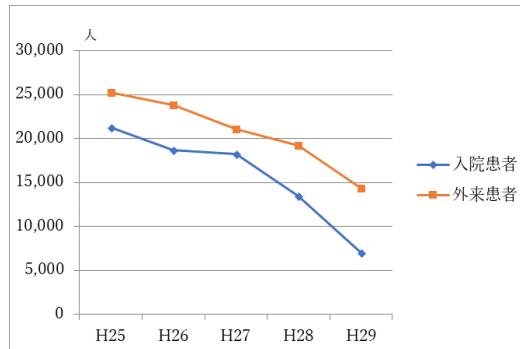
(単位:千円)

	H29決算 (A)	H29当初 予算(B)	増減 A-B	増減率	H29補正 予算(C)	増減 A-C	増減率	H28決算 額(D)	増減 A-D	増減率
医業損益	△1,353,983	△1,368,179	14,196	1.0%	△1,379,420	25,437	1.8%	△1,315,639	△38,344	△2.9%
営業損益	△378,092	△398,989	20,897	5.2%	△404,858	26,766	6.6%	△474,992	96,900	20.4%
経常損益	△361,038	△398,228	37,190	9.3%	△390,152	29,114	7.5%	△475,775	114,737	24.1%
純損益	△371,802	△398,744	26,942	6.8%	△406,705	34,903	8.6%	△478,158	106,356	22.2%
目的積立金 取崩額	0	0	0	#DIV/0!	0	0	#DIV/0!	0	0	#DIV/0!
総損益	△371,802	△398,744	26,942	6.8%	△406,705	34,903	8.6%	△478,158	106,356	22.2%

図表4 収益・費用の推移



図表5 患者数の推移



ロ 精神医療センター

入院収益は 1,501,579 千円となり、当初予算と比較し、259,170 千円の減となりました。年度前半については、重症患者の増加等により、入院期間の長期化や隔離室・個室が不足したことで、入院患者数の減少やスーパー適患者割合が低下したことなどによるものです。

しかし、年度後半については、毎朝の総合診療会議や院長チームラウンド等でベッド調整に努めたことにより、スーパー適患者割合は回復し、年度平均で 77.3%（前年度平均 77.2%）と前年並みを確認したものの、年度目標には達しなかったものです。また、児童・思春期ユニットは、施設・設備的な要因により、受入が難しく入院患者数が減少したものです。なお、重症患者については、北 1・北 2 病棟と調整を図り受入に努めました。

外来収益は、305,297 千円となり、当初予算と比較し 7,263 千円の増となりました。一般外来は、デイケアプログラムの充実と患者の症状に合わせた個別対応に努めたことにより利用者数が増加し、児童・思春期外来では担当医師の増員や、8 月から新患枠を増枠し、新患予約から受診までの期間短縮に努めたことにより新患・再来患者数共に増加したものです。また、訪問看護ステーションは、常勤職員の増員により、患者数が増加しました。

営業費用については、2,795,643 千円となり、当初予算と比較し、22,397 千円の増となりました。これは、給与費が 72,506 千円増加したものの、材料費が 5,726 千円減少、経費が 36,469 千円減少したことによるものです。

この結果、政策医療に対する宮城県からの運営費負担金等の収益を含めた営業損失は 71,575 千円、これに支払利息などの営業外費用等を加えた当年度純損失は 56,539 千円と、当初予算と比較すると 266,912 千円の未達となりました。

図表 1 【決算報告書(予算対比、税込)】 精神医療センター (単位: 千円)

科 目	H29 予算(ア)	H29 決算(イ)	増減(イ)-(ア)	増減率
I 営業収益(A)	2,966,141	2,724,068	△ 242,073	△ 8.2%
1 医療収益	2,160,521	1,908,841	△ 251,680	△ 11.6%
(1) 入院収益	1,760,749	1,501,579	△ 259,170	△ 14.7%
(2) 外来収益	298,034	305,297	7,263	2.4%
(3) その他医療収益	101,738	101,964	226	0.2%
2 運営費負担金収益	769,455	778,966	9,511	1.2%
3 資産見返運営費負担金戻入	28,257	28,257	0	0.0%
4 その他	7,908	8,005	97	1.2%
II 営業費用(B)	2,773,246	2,795,643	22,397	0.8%
1 医療費用	2,746,358	2,773,674	27,316	1.0%
(1) 給与費	1,927,192	1,999,698	72,506	3.8%
(2) 材料費	149,099	143,373	△ 5,726	△ 3.8%
(3) 経費	520,892	484,423	△ 36,469	△ 7.0%
(4) 減価償却費	137,175	135,889	△ 1,286	△ 0.9%
(5) 研究研修費	12,000	10,291	△ 1,709	△ 14.2%
2 一般管理費	0	0	0	0.0%
3 その他	26,888	21,969	△ 4,919	△ 18.3%
営業損(△)益	192,895	△ 71,575	△ 264,470	△ 137.1%
III 営業外収益(D)	28,304	26,788	△ 1,516	△ 5.4%
1 運営費負担金収益	10,650	10,650	0	0.0%
2 その他	17,654	16,138	△ 1,516	△ 8.6%
IV 営業外費用(E)	10,826	10,766	△ 60	△ 0.5%
(1) 財務費用(支払利息)	10,342	10,337	△ 5	△ 0.1%
(2) その他	484	430	△ 54	△ 11.2%
経常損(△)益	210,373	△ 55,554	△ 265,927	△ 126.4%
III 臨時利益(G)	0	509	509	0.0%
VI 臨時損失(H)	0	1,494	1,494	0.0%
当年度純損(△)益	210,373	△ 56,539	△ 266,912	△ 126.9%
目的積立金取崩額	0	0	0	0.0%
当年度総損(△)益	210,373	△ 56,539	△ 266,912	△ 126.9%
【資本収支表】				
I 資本収入(a)	200,800	8,200	△ 192,600	△ 95.9%
(1) 長期借入金	200,800	8,200	△ 192,600	△ 95.9%
(2) その他	0	0	0	0.0%
II 資本支出(b)	274,233	63,698	△ 210,535	△ 76.8%
(1) 建設改良費	230,017	19,481	△ 210,536	△ 91.5%
(2) 償還金	44,216	44,217	1	0.0%
(3) その他	0	0	0	0.0%
差引(a)-(b)	△ 73,433	△ 55,498	17,935	24.4%

(注) 表中の数値について、個々に四捨五入をしている関係上、合計額及び差引額が一致しない場合がある。

図表2 診療実績調(税込)

平成30年3月31日現在

区 分		H29 決算 (7)	H29 当初 予 算 (1)	中 期 計 画	H28 決算	当 初 予 算 対 比 アーイ	当 初 予 算 対 比
入 院	年間入院患者延数 (人)	66,828	75,080	83,950	71,565	△ 8,252	89.0%
	金 額 (千円)	1,501,886	1,760,749	1,809,193	1,593,524	△ 258,863	85.3%
	患者一人当たりの診療収入	22,474 円	23,452 円	21,551 円	22,267 円	△ 978 円	95.8%
	平均在院日数 (日)	133.0	131.0	131.0	131.0		
	病床稼働率 (%)	71.00%	79.70%	89.40%	76.30%		89.1%
外 来	年間外来患者延数 (人)	37,837	36,894	35,367	35,277	943	102.6%
	金 額 (千円)	305,262	297,775	284,687	277,856	7,487	102.5%
	患者一人当たりの診療収入	8,068 円	8,071 円	8,050 円	7,876 円	△ 3 円	100.0%
	平均通院日数 (日)	47.6	—	—	52.9		
計	延べ患者数 (人)	104,665	111,974	119,317	106,842	△ 7,309	93.5%
	金 額 (千円)	1,807,148	2,058,524	2,093,880	1,871,380	△ 251,376	87.8%

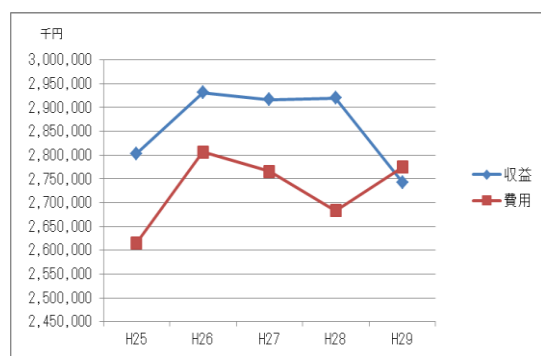
- ・入院診療日数 29年度 365日 28年度 365日
- ・外来診療日数 29年度 244日 28年度 243日
- ・病床稼働率 年間入院患者延数÷年延病床数(許可病床数258床×歴日数)×100
- ・入院患者一人当たりの診療収入 入院収益÷年間入院患者延数
- ・外来患者一人当たりの診療収入 外来収益÷年間外来患者延数

図表3 予算額に対する比較表(税込)

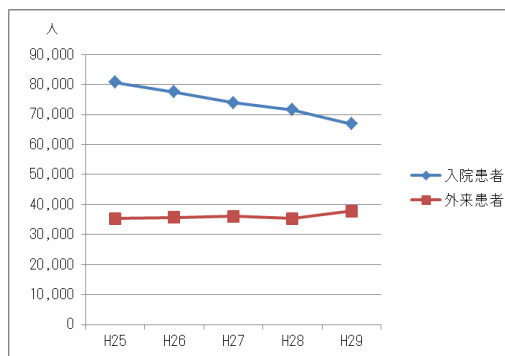
(単位:千円)

	H29決算 (A)	H29当初 予算(B)	増減 A-B	増減率	H29補正 予算(C)	増減 A-C	増減率	H28決算 額(D)	増減 A-D	増減率
医業損益	△864,833	△585,837	△278,996	△47.6%	△884,802	19,969	2.3%	△713,956	△150,877	△21.1%
営業損益	△71,575	192,895	△264,470	△137.1%	△97,480	25,905	26.6%	195,417	△266,992	△136.6%
経常損益	△55,554	210,373	△265,927	△126.4%	△79,998	24,444	30.6%	208,134	△263,688	△126.7%
純損益	△56,539	210,373	△266,912	△126.9%	△82,432	25,893	31.4%	211,710	△268,249	△126.7%
目的積立金 取崩額	0	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%
総損益	△56,539	210,373	△266,912	△126.9%	△82,432	25,893	31.4%	211,710	△268,249	△126.7%

図表4 収益・費用の推移



図表5 患者数の推移



ハ がんセンター

入院について、入院収益は、5,399,486 千円となり、当初予算と比較し 175,020 千円の減となりました。平成 29 年度は、新規入院患者は増加しましたが、平均在院日数の短縮化（平成 28 年度：17.6 日→平成 29 年度：17.3 日）に加え、化学療法や通院による放射線治療など入院治療から外来治療へ移行したことが影響しているものです。

外来について、外来収益は、3,495,891 千円となり、当初予算と比較して 174,686 千円の増となりました。これは、入院収益でも述べたとおり外来患者及び外来化学療法の増等に伴い、当初予算を上回ったものです。

営業費用については、当初予算と比較すると 262,226 千円の増となりました。これは、免疫チェックポイント阻害薬の一つ（キイトルーダ）の保険適用が拡大となったことなどに伴い、高額薬剤を使用した治療が見込みを上回ったこと、化学療法の増加に伴い、薬品費及び暴露防止用の材料費が増加したことに加えて、放射線機器の管球の突発的な故障などにより、修繕費が増加したこと等によるものです。

この結果、政策医療に対する宮城県からの運営費負担金等の収益を含めた営業利益は 124,688 千円、これに支払利息等の営業外費用を加えた当年度純利益は 114,722 千円となり、当初予算と比較すると 322,531 千円の未達となりました。

図表 1【決算報告書(予算対比、税込)】がんセンター (単位: 千円)

科 目	H29 予算(ア)	H29 決算(イ)	増減(イ)-(ア)	増減率
I 営業収益(A)	11,369,323	11,317,009	△ 52,314	△ 0.5%
1 医業収益	9,150,396	9,104,324	△ 46,072	△ 0.5%
(1) 入院収益	5,574,506	5,399,486	△ 175,020	△ 3.1%
(2) 外来収益	3,321,205	3,495,891	174,686	5.3%
(3) その他医業収益	254,685	208,947	△ 45,738	△ 18.0%
2 運営費負担金収益	1,457,753	1,452,442	△ 5,311	△ 0.4%
3 資産売却運営費負担金戻入	715,077	715,077	0	0.0%
4 その他	46,097	45,166	△ 931	△ 2.0%
II 営業費用(B)	10,930,095	11,192,321	262,226	2.4%
1 医業費用	10,608,207	10,858,936	250,729	2.4%
(1) 給与費	4,736,719	4,760,023	23,304	0.5%
(2) 材料費	3,175,451	3,361,367	185,916	5.9%
うち薬品費	2,730,382	2,896,411	166,029	6.1%
うち診療材料費	434,786	453,598	18,812	4.3%
(3) 経費	1,593,727	1,598,753	5,026	0.3%
(4) 減価償却費	937,806	997,103	59,297	6.3%
(5) 研究研修費	164,504	141,691	△ 22,813	△ 13.9%
2 一般管理費	0	0	0	0.0%
3 その他	321,888	333,385	11,497	3.6%
営業損(△)益	439,228	124,688	△ 314,540	△ 71.6%
III 営業外収益(D)	180,083	173,890	△ 6,193	△ 3.4%
1 運営費負担金収益	108,542	108,542	0	0.0%
2 その他	71,541	65,348	△ 6,193	△ 8.7%
IV 営業外費用(E)	182,057	176,183	△ 5,874	△ 3.2%
(1) 財務費用(支払利息)	131,310	130,931	△ 379	△ 0.3%
(2) その他	50,747	45,252	△ 5,495	△ 10.8%
経常増(△)減	437,253	122,395	△ 314,858	△ 72.0%
V 臨時利益(G)	0	541	541	0.0%
VI 臨時損失(H)	0	8,214	8,214	547,573.3
当年度純増(△)減	437,253	114,722	△ 322,531	△ 73.8%
目的積立金取崩額	0	0	0	0.0%
当年度総増(△)減	437,253	114,722	△ 322,531	△ 73.8%
【資本収支表】				
I 資本収入(a)	1,036,100	450,700	△ 585,400	△ 56.5%
(1) 長期借入金	1,036,100	450,700	△ 585,400	△ 56.5%
(2) その他	0	0	0	0.0%
II 資本支出(b)	2,183,424	1,602,089	△ 581,335	△ 26.6%
(1) 建設改良費	1,134,303	552,970	△ 581,333	△ 51.3%
(2) 償還金	1,049,121	1,049,119	△ 2	△ 0.0%
(3) その他	0	0	0	0.0%
差引(a)-(b)	△ 1,147,324	△ 1,151,389	△ 4,065	0.4%

(注)表中の数値について、個々に四捨五入をしている関係上、合計額及び差引額が一致しない場合がある。

図表2 診療実績調（税込）

平成30年3月31日現在

区 分		H29決算(ア)	H29当初 予算(イ)	中期計画	H28決算	当初予算対比 (ア)-(イ)	当初予算対比
入 院	年間入院患者延数(人)	101,994	106,726	113,661	101,307	△ 4,732	95.6%
	金 額(千円)	5,399,486	5,574,506	5,773,746	5,334,130	△ 175,020	96.9%
	患者一人当たりの診療収入	52,939円	52,232円	50,789円	52,653円	707円	101.4%
	平均在院日数(日)	17.3	—	—	17.6		
	病床稼働率	73.0%	76.3%	81.3%	72.5%		95.7%
外 来	年間外来患者延数(人)	85,784	83,765	82,521	82,648	2,019	102.4%
	金 額(千円)	3,495,891	3,321,205	2,421,160	3,422,782	174,686	105.3%
	患者一人当たりの診療収入	40,752円	39,649円	29,340円	41,414円	1,103円	102.8%
	平均通院日数(日)	14.8	—	—	14.7		
計	延べ患者数(人)	187,778	190,491	196,182	183,955	△ 2,713	98.58%
	金 額(千円)	8,895,377	8,895,711	8,194,906	8,756,912	△ 334	100.00%

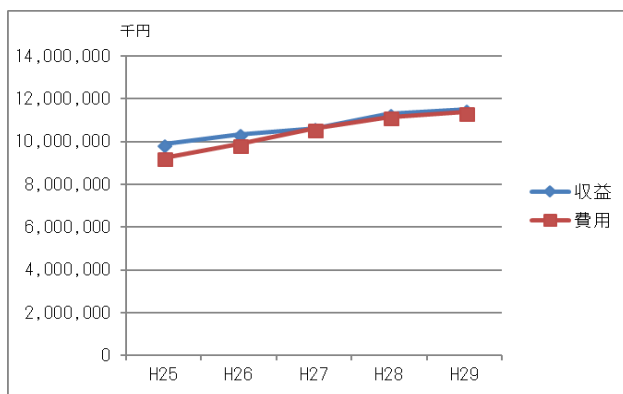
- ・入院診療日数 29年度 365日 28年度 365日
- ・外来診療日数 29年度 244日 28年度 243日
- ・病床稼働率 年間入院患者延数÷年間延病床数(許可病床383床×歴日数)×100
- ・入院患者一人当たりの診療収入 入院収益÷年間入院患者延数
- ・外来患者一人当たりの診療収入 外来収益÷年間外来患者延数

図表3 予算額に対する比較表（税込）

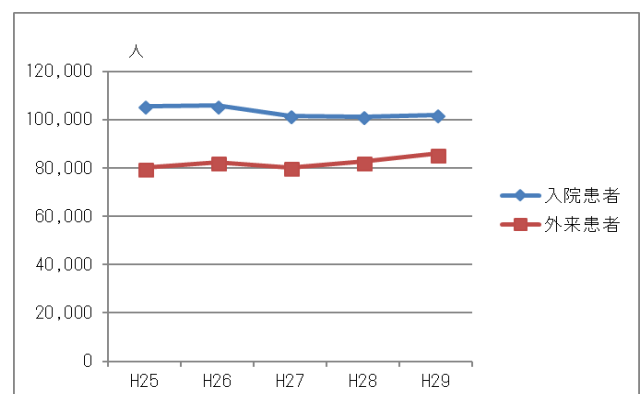
(単位:千円)

	H29決算 (A)	H29当初 予算(B)	増減 A-B	増減率	H29補正 予算(C)	増減 A-C	増減率	H28決算 額(D)	増減 A-D	増減率
医業損益	△ 1,754,612	△ 1,457,811	△ 296,801	△ 20.4%	△ 1,781,595	26,983	1.5%	△ 1,653,321	△ 101,291	△ 6.1%
営業損益	124,688	439,228	△ 314,540	△ 71.6%	97,298	27,390	28.2%	162,676	△ 37,988	△ 23.4%
経常損益	122,395	437,254	△ 314,859	△ 72.0%	100,519	21,876	21.8%	134,067	△ 11,672	△ 8.7%
純損益	114,722	437,253	△ 322,531	△ 73.8%	94,010	20,712	22.0%	134,428	△ 19,706	△ 14.7%
目的積立金 取崩額	0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
総損益	114,722	437,253	△ 322,531	△ 73.8%	94,010	20,712	22.0%	134,428	△ 19,706	△ 14.7%

図表4 収益・費用の推移



図表5 患者数の推移



二 本部事務局

営業収益については、7,498 千円となり、当初予算と比較し 1,555 千円の減となりました。これは、運営費負担金収益の額が、当初見込を下回ったこと等によるものです。

営業費用については、

170,715 千円となり、当初予算と比較すると 32,008 千円の減となりました。これは、職員が 1 名中途退職したこと等による給与費の減、精神医療センター建替関係調査費や予備費の執行残等によるものです。

この結果、営業損失は

163,217 千円、これに営業外収益等を加えた当年度純損失は 163,155 千円となり、当初予算と比較すると、損失額で 60,515 千円の改善となりました。

図表 1【決算報告書(予算対比、税込)】 本部事務局 (単位:千円)

科 目	H29 予算(ア)	H29 決算(イ)	増減(イ)-(ア)	増減率
I 営業収益(A)	9,053	7,498	△ 1,555	△ 17.2%
1 医業収益	0	0	0	0.0%
(1)入院収益	0	0	0	0.0%
(2)外来収益	0	0	0	0.0%
(3)その他医業収益	0	0	0	0.0%
2 運営費負担金収益	8,621	7,404	△ 1,217	△ 14.1%
3 資産見返運営費負担金戻入	0	0	0	0.0%
4 その他	432	94	△ 338	△ 78.2%
II 営業費用(B)	202,723	170,715	△ 32,008	△ 15.8%
1 営業費用	4,039	1,058	△ 2,981	△ 73.8%
(1)給与費	0	0	0	0.0%
(2)材料費	0	0	0	0.0%
(3)経費	0	0	0	0.0%
(4)減価償却費	0	0	0	0.0%
(5)研究研修費	4,039	1,058	△ 2,981	△ 73.8%
2 一般管理費	198,193	169,537	△ 28,656	△ 14.5%
3 その他	491	119	△ 372	△ 75.7%
営業損(△)益	△ 193,670	△ 163,217	30,453	15.7%
III 営業外収益(D)	0	204	204	0.0%
1 運営費負担金収益	0	0	0	0.0%
2 その他	0	204	204	0.0%
IV 営業外費用(E)	30,000	249	△ 29,751	△ 99.2%
(1)財務費用(支払利息)	62	0	△ 62	△ 100.0%
(2)その他	29,938	249	△ 29,689	△ 99.2%
経常損(△)益	△ 223,670	△ 163,262	60,408	27.0%
III 臨時利益(G)	0	107	107	0.0%
VI 臨時損失(H)	0	0	0	0.0%
当年度純損(△)益	△ 223,670	△ 163,155	60,515	27.1%
目的積立金取崩額	0	0	0	0.0%
当年度総損(△)益	△ 223,670	△ 163,155	60,515	27.1%
【資本収支表】				
I 資本収入(a)	0	5,900	5,900	0.0%
(1)長期借入金	0	5,900	5,900	0.0%
(2)その他	0	0	0	0.0%
II 資本支出(b)	63,594	6,612	△ 56,982	△ 89.6%
(1)建設改良費	63,594	6,612	△ 56,982	△ 89.6%
(2)償還金	0	0	0	0.0%
(3)その他	0	0	0	0.0%
差引(a)-(b)	△ 63,594	△ 712	62,882	98.9%

(注)表中の数値について、個々に四捨五入をしている関係上、合計額及び差引額が一致しない場合がある。

図表 2 予算額に対する比較表 (税込) (単位:千円)

	H29 決算 (A)	H29 当初 予算(B)	増減 A-B	増減率	H29 補正 予算(C)	増減 A-C	増減率	H29 決算 額(D)	増減 A-D	増減率
医業損益	△ 1,058	△ 4,039	2,981	73.8%	△ 3,068	2,010	65.5%	△ 1,193	135	11.3%
営業損益	△ 163,217	△ 193,670	30,453	15.7%	△ 168,100	4,883	2.9%	△ 166,132	2,915	1.8%
経常損益	△ 163,262	△ 223,670	60,408	27.0%	△ 198,100	34,838	17.6%	△ 168,821	5,559	3.3%
純損益	△ 163,155	△ 223,670	60,515	27.1%	△ 198,031	34,876	17.6%	△ 168,702	5,547	3.3%
目的積立金 取崩額	0	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%
総損益	△ 163,155	△ 223,670	60,515	27.1%	△ 198,031	34,876	17.6%	△ 168,702	5,547	3.3%

ホ 宮城県立病院機構全体

医 業 収 益 に つ い て は ,
11,480,526 千円となり,当初予算と比較し 596,503 千円の減となりました。これは, 3 病院ともに当初予算と比較して入院収益が大きく減少したことが主な要因です。

医 業 費 用 に つ い て は ,
15,455,012 千円となり,当初予算と比較し 37,883 千円の減となりました。これは, 職員数の減少による給与費の減や, 当初予算と比較して入院患者数が減少したことにより給食費等の費用が減少したものです。

営 業 外 収 益 に つ い て は ,
230,304 千円となり, 当初予算と比較し 8,430 千円の増となりました。また, 営業外費用については, 199,567 千円となり, 当初予算と比較し 36,042 千円の減となりました。

この結果, 運営費負担金等の収益額を含めた営業損失は 488,196 千円, これに営業外収益等を加えた当年度純損失は 476,773 千円で, 当初予算と比較すると 501,985 千円の未達となりました。

なお, 資本的収支は, がんセンターの大規模修繕次年度繰り越しなどにより, 資本収入が 851,200 千円減少し 517,600 千円, 資本支出が 869,336 千円減少し 1,850,190 千円となりました。

図表1 【決算報告書(予算対比, 税込)】 宮城県立病院機構全体 (単位:千円)

科 目	H29予算(ア)	H29決算(イ)	増減(イ)-(ア)	増減率
I 営業収益(A)	16,104,800	15,507,660	△ 597,140	△ 3.7%
1 医業収益	12,077,029	11,480,526	△ 596,503	△ 4.9%
(1)入院収益	7,811,756	7,142,666	△ 669,090	△ 8.6%
(2)外来収益	3,903,189	4,019,073	115,884	3.0%
(3)その他医業収益	362,084	318,787	△ 43,297	△ 12.0%
2 運営費負担金収益	3,165,592	3,166,220	628	0.0%
3 資産見返運営費負担金戻入	804,947	804,947	0	0.0%
4 その他	57,232	55,967	△ 1,265	△ 2.2%
II 営業費用(B)	16,065,336	15,995,856	△ 69,480	△ 0.4%
1 医業費用	15,492,895	15,455,012	△ 37,883	△ 0.2%
(1)給与費	7,777,491	7,729,524	△ 47,967	△ 0.6%
(2)材料費	3,499,457	3,578,698	79,241	2.3%
(3)経費	2,712,679	2,616,661	△ 96,018	△ 3.5%
(4)減価償却費	1,316,002	1,372,346	56,344	4.3%
(5)研究研修費	187,266	157,783	△ 29,483	△ 15.7%
2 一般管理費	198,193	169,537	△ 28,656	△ 14.5%
3 その他	374,248	371,307	△ 2,941	△ 0.8%
営業損(△)益	39,464	△ 488,196	△ 527,660	△ 1337.1%
III 営業外収益(D)	221,874	230,304	8,430	3.8%
1 運営費負担金収益	129,924	129,924	0	0.0%
2 その他	91,950	100,380	8,430	9.2%
IV 営業外費用(E)	235,609	199,567	△ 36,042	△ 15.3%
(1)財務費用(支払利息)	154,317	153,614	△ 703	△ 0.5%
(2)その他	81,292	45,953	△ 35,339	△ 43.5%
経常損(△)益	25,729	△ 457,459	△ 483,188	△ 1878.0%
V 臨時利益(G)	0	2,868	2,868	0.0%
VI 臨時損失(H)	517	22,182	21,665	4190.6%
当年度純損(△)益	25,212	△ 476,773	△ 501,985	△ 1991.1%
目的積立金取崩額	0	0	0	0.0%
当年度総損(△)益	25,212	△ 476,773	△ 501,985	△ 1991.1%
【資本収支表】				
I 資本収入(a)	1,368,800	517,600	△ 851,200	△ 62.2%
(1)長期借入金	1,368,800	517,600	△ 851,200	△ 62.2%
(2)その他	0	0	0	0.0%
II 資本支出(b)	2,719,526	1,850,190	△ 869,336	△ 32.0%
(1)建設改良費	1,519,005	649,671	△ 869,334	△ 57.2%
(2)償還金	1,200,521	1,200,519	△ 2	△ 0.0%
(3)その他	0	0	0	0.0%
差引(a)-(b)	△ 1,350,726	△ 1,332,590	18,136	1.3%

(注)表中の数値について、個々に四捨五入をしている関係上、合計額及び差引額が一致しない場合がある。

図表 2 診療実績調 (税込)

平成30年3月31日現在

区 分		H29 決算 (7)	H29 当初 予算 (4)	中期計画	H28 決算	当初予算対 比 アーイ	当初予 算対比
入 院	年間入院患者延数 (人)	175,865	192,756	218,038	186,297	△ 16,891	91.2%
	金 額 (千円)	7,142,666	7,811,756	8,424,478	7,495,790	△ 669,090	91.4%
	患者一人当たりの診療収入	40,616	40,527	38,638	40,236	89	100.2%
外 来	年間外来患者延数 (人)	138,153	140,179	141,492	137,180	△ 2,026	98.6%
	金 額 (千円)	4,019,073	3,903,189	3,135,243	3,981,172	115,884	103.0%
	患者一人当たりの診療収入	29,091	27,844	22,158	29,022	1247	104.5%
計	延べ患者数 (人)	314,018	332,935	359,530	323,477	△ 18,917	94.3%
	金 額 (千円)	11,161,739	11,714,945	11,559,721	11,476,962	△ 553,206	95.3%

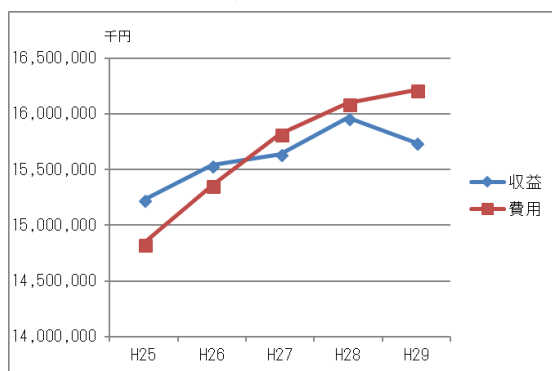
- ・ 入院診療日数 29年度 365日 28年度 365日
- ・ 外来診療日数 29年度 244日 28年度 243日
- ・ 入院患者一人当たりの診療収入 入院収益÷年間入院患者延数
- ・ 外来患者一人当たりの診療収入 外来収益÷年間外来患者延数

図表 3 予算額に対する比較表 (税込)

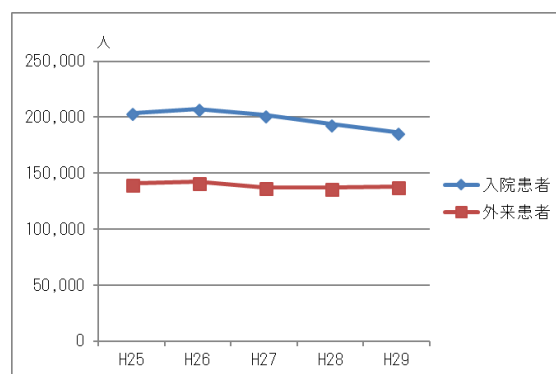
(単位: 千円)

	H29決算 (A)	H29当初 予算(B)	増減 A-B	増減率	H29補正 予算(C)	増減 A-C	増減率	H28決算 額(D)	増減 A-D	増減率
医業損益	△ 3,974,486	△ 3,415,866	△ 558,620	△ 16.4%	△ 4,048,885	74,399	0.0	△ 3,684,109	△ 290,377	△ 7.9%
営業損益	△ 488,196	39,464	△ 527,660	△ 1337.1%	△ 573,140	84,944	0.1	△ 283,031	△ 205,165	△ 72.5%
経常損益	△ 457,459	25,729	△ 483,188	△ 1878.0%	△ 567,731	110,272	0.2	△ 302,394	△ 155,065	△ 51.3%
純損益	△ 476,773	25,212	△ 501,985	△ 1991.1%	△ 588,497	111,724	0.2	△ 300,722	△ 176,051	△ 58.5%
目的積立金 取崩額	0	0	0	-	0	0	-	0	0	-
総損益	△ 476,773	25,212	△ 501,985	△ 1991.1%	△ 588,497	111,724	0.2	△ 300,722	△ 176,051	△ 58.5%

図表 4 収益・費用の推移



図表 5 患者数の推移





参 考 資 料

(病院別貸借対照表・損益計算書)

貸借対照表
(平成30年3月31日)

【循環器・呼吸器病センター】

(単位:円)

科 目	金 額	
資 産 の 部		
I 固 定 資 産		
1 有形固定資産		
土地	479,100,000	
建物	1,952,149,000	
建物減価償却累計額	901,554,629	1,050,594,371
構築物	76,714,561	
構築物減価償却累計額	45,729,876	30,984,685
器械備品	1,160,382,918	
器械備品減価償却累計額	949,888,106	210,494,812
車輛	110,250	
車輛減価償却累計額	110,249	1
その他有形固定資産	3,850,000	
他有形固定資産減価償却累計額	0	3,850,000
有形固定資産合計	1,775,023,869	
2 無形固定資産		
ソフトウェア	9,192,253	
電話加入権	598,900	
無形固定資産合計	9,791,153	
3 投資その他の資産		
長期前払消費税	33,640,441	
投資その他の資産合計	33,640,441	
固定資産合計		1,818,455,463
II 流 動 資 産		
現金及び預金	421,920	
医業未収金	56,641,849	
貸倒引当金	△ 671,510	55,970,339
未収金		6,882,318
貯蔵品		
医療材料		
医薬品	9,332,738	
診療材料	7,228,136	
その他貯蔵品	1,011,977	17,572,851
その他流動資産	3,586,857	
流動資産合計		84,434,285
資産合計		1,902,889,748

貸借対照表
(平成30年3月31日)

(単位:円)

科 目	金 額	
負債の部		
I 固定負債		
資産見返負債		
資産見返補助金等	5,087,335	
資産見返物品受贈額	3,850,002	8,937,337
長期借入金		192,493,382
移行前地方債償還債務		516,416,610
引当金		
退職給付引当金	1,051,207,075	
長期リース債務		32,316,408
その他固定負債(施設間仮勘定)	2,684,085,650	
固定負債合計		4,485,456,462
II 流動負債		
1年以内返済予定移行前地方債償還債務	25,588,390	
1年以内返済予定長期借入金	77,782,520	
医業未払金	138,066,050	
未払金	6,924,392	
1年以内支払予定リース債務	15,894,144	
未払消費税等	142,961	
預り金	6,559,268	
引当金		
賞与引当金	51,375,284	
流動負債合計		322,333,009
負債合計		4,807,789,471
純資産の部		
I 資本金		
設立団体出資金	△ 219,931,405	
資本金合計		△ 219,931,405
II 繰越欠損金		
当期末処分利益(△当期末処理損失)	△ 2,684,968,318	
(うち当期総損失)	(△ 371,802,066)	
繰越欠損金合計		△ 2,684,968,318
純資産合計		△ 2,904,899,723
負債純資産合計		1,902,889,748

損益計算書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

【循環器・呼吸器病センター】

(単位:円)

科 目	金 額	
営業収益		
医業収益		
入院収益	241,553,681	
外来収益	217,840,189	
その他医業収益	7,457,351	466,851,221
運営費負担金収益		927,407,902
資産見返運営費負担金戻入		61,613,000
資産見返補助金等戻入		2,702,692
営業収益合計		1,458,574,815
営業費用		
医業費用		
給与費	968,209,751	
材料費	73,958,498	
経費	503,522,332	
減価償却費	239,354,442	
研究研修費	4,409,232	1,789,454,255
取得資産に係る控除対象外消費税償却		7,776,163
控除対象外消費税(消費税損失)		39,348,056
営業費用合計		1,836,578,474
営業利益		△ 378,003,659
営業外収益		
運営費負担金収益		10,732,000
その他営業外収益		18,600,555
営業外収益合計		29,332,555
営業外費用		
財務費用		12,346,165
その他営業外費用		20,563
営業外費用合計		12,366,728
経常利益		△ 361,037,832
臨時利益		
貸倒引当金戻入益		1,710,229
臨時利益合計		1,710,229
臨時損失		
固定資産除却損		16
その他臨時損失		12,474,447
臨時損失合計		12,474,463
当期純利益(△損失)		△ 371,802,066
当期総利益(△損失)		△ 371,802,066

貸 借 対 照 表
(平成30年3月31日)

【精神医療センター】

(単位:円)

科 目	金 額	
資 産 の 部		
I 固 定 資 産		
1 有形固定資産		
土地	712,910,000	
建物	1,498,970,000	
建物減価償却累計額	<u>765,099,213</u>	733,870,787
構築物	76,828,923	
構築物減価償却累計額	<u>41,752,073</u>	35,076,850
器械備品	260,723,072	
器械備品減価償却累計額	<u>201,975,205</u>	58,747,867
車輛	3,979,082	
車輛減価償却累計額	<u>2,823,207</u>	1,155,875
建設仮勘定		<u>324,650,825</u>
有形固定資産合計		1,866,412,204
2 無形固定資産		
ソフトウェア	142,826	
電話加入権		<u>326,500</u>
無形固定資産合計		469,326
3 投資その他の資産		
長期前払消費税		<u>37,009,881</u>
投資その他の資産合計		<u>37,009,881</u>
固定資産合計		1,903,891,411
II 流 動 資 産		
現金及び預金	272,822	
医業未収金	330,554,664	
貸倒引当金	<u>△ 17,789,134</u>	312,765,530
未収金	3,404,415	
貸倒引当金	<u>△ 1,982,300</u>	1,422,115
貯蔵品		
医療材料		
医薬品	7,471,261	
診療材料	2,462,750	
その他貯蔵品	<u>2,657,430</u>	12,591,441
その他流動資産		<u>116,257,694</u>
流動資産合計		443,309,602
資産合計		<u><u>2,347,201,013</u></u>

貸借対照表
(平成30年3月31日)

(単位:円)

科 目	金 額	
負債の部		
Ⅰ 固定負債		
資産見返負債		
資産見返補助金等	65,877,147	
資産見返物品受贈額	<u>1</u>	65,877,148
長期借入金		327,026,288
移行前地方債償還債務		463,991,556
引当金		
退職給付引当金		1,441,384,586
長期リース債務		14,848,272
その他固定負債(施設間仮勘定)	<u>△ 1,388,268,394</u>	
固定負債合計		924,859,456
Ⅱ 流動負債		
1年以内返済予定移行前地方債償還債務		38,220,324
1年以内返済予定長期借入金		7,988,385
医業未払金		95,665,088
未払金		1,312,593
1年以内支払予定リース債務		8,044,272
未払消費税等		1,977,338
預り金		11,413,363
引当金		
賞与引当金	<u>108,969,004</u>	
流動負債合計		<u>273,590,367</u>
負債合計		1,198,449,823
純資産の部		
Ⅰ 資本金		
設立団体出資金	<u>232,341,583</u>	
資本金合計		232,341,583
Ⅱ 利益剰余金		
当期末処分利益(△当期末処理損失)	<u>916,409,607</u>	
(うち当期総利益)	(△ 56,538,684)	
利益剰余金合計		<u>916,409,607</u>
純資産合計		<u>1,148,751,190</u>
負債純資産合計		<u><u>2,347,201,013</u></u>

損益計算書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

【精神医療センター】

(単位:円)

科 目	金 額	
営業収益		
医業収益		
入院収益	1,501,505,117	
外来収益	305,281,788	
その他医業収益	94,436,382	1,901,223,287
運営費負担金収益		778,966,000
資産見返運営費負担金戻入		28,257,000
補助金等収益		153,000
資産見返補助金等戻入		7,851,550
営業収益合計		2,716,450,837
営業費用		
医業費用		
給与費	1,997,883,511	
材料費	143,372,932	
経費	453,613,821	
減価償却費	135,888,846	
研究研修費	9,540,535	2,740,299,645
取得資産に係る控除対象外消費税償却		2,414,861
控除対象外消費税(消費税損失)		44,634,140
営業費用合計		2,787,348,646
営業利益		△ 70,897,809
営業外収益		
運営費負担金収益	10,650,000	
財務収益	139,567	
その他営業外収益	15,296,196	
営業外収益合計		26,085,763
営業外費用		
財務費用	10,336,555	
その他営業外費用	405,109	
営業外費用合計		10,741,664
経常利益		△ 55,553,710
臨時利益		
貸倒引当金戻入益	509,101	
臨時利益合計		509,101
臨時損失		
固定資産除却損	7	
その他臨時損失	1,494,068	
臨時損失合計		1,494,075
当期純利益(△損失)		△ 56,538,684
当期総利益(△損失)		△ 56,538,684

貸借対照表
(平成30年3月31日)

【がんセンター】

(単位:円)

科 目	金 額	
資 産 の 部		
I 固 定 資 産		
1 有形固定資産		
土地	590,680,000	
建物	7,500,717,700	
建物減価償却累計額	2,150,317,993	5,350,399,707
構築物	98,411,804	
構築物減価償却累計額	38,576,293	59,835,511
器械備品	4,782,485,628	
器械備品減価償却累計額	3,338,794,217	1,443,691,411
車輛	228,375	
車輛減価償却累計額	228,372	3
建設仮勘定		26,200,000
有形固定資産合計		7,470,806,632
2 無形固定資産		
ソフトウェア	184,924,822	
電話加入権	251,500	
その他無形固定資産		87,198
無形固定資産合計		185,263,520
3 投資その他の資産		
長期前払消費税		195,688,409
投資その他の資産合計		195,688,409
固定資産合計		7,851,758,561
II 流 動 資 産		
現金及び預金	2,808,115	
医業未収金	1,449,346,226	
貸倒引当金	△ 5,676,447	1,443,669,779
未収金		26,273,720
貯蔵品		
医療材料		
医薬品	55,438,828	
診療材料	40,242,815	
その他貯蔵品	2,862,644	98,544,287
その他流動資産		39,259,807
流動資産合計		1,610,555,708
資産合計		9,462,314,269

貸借対照表
(平成30年3月31日)

(単位:円)

科 目	金 額	
負債の部		
Ⅰ 固定負債		
資産見返負債		
資産見返補助金等	55,410,851	
資産見返寄附金	6,251,504	
資産見返物品受贈額	<u>14,999,405</u>	76,661,760
長期借入金		2,625,115,154
移行前地方債償還債務		2,528,304,627
引当金		
退職給付引当金		2,579,559,655
長期リース債務		100,832,948
その他固定負債(施設間仮勘定)	<u>△ 2,250,011,224</u>	
固定負債合計		5,660,462,920
Ⅱ 流動負債		
寄附金債務		13,854,391
1年以内返済予定移行前地方債償還債務		564,791,615
1年以内返済予定長期借入金		652,521,813
医業未払金		685,183,474
未払金		74,248,039
1年以内支払予定リース債務		88,791,756
未払消費税等		6,491,801
預り金		59,347,718
前受金		210,275,169
引当金		
賞与引当金	<u>263,516,376</u>	
流動負債合計		<u>2,619,022,152</u>
負債合計		8,279,485,072
純資産の部		
Ⅰ 資本金		
設立団体出資金	<u>△ 1,016,499,159</u>	
資本金合計		△ 1,016,499,159
Ⅱ 利益剰余金		
当期末処分利益(△当期末処理損失)	<u>2,199,328,356</u>	
(うち当期総利益)	(114,722,414)	
利益剰余金合計		<u>2,199,328,356</u>
純資産合計		<u>1,182,829,197</u>
負債純資産合計		<u><u>9,462,314,269</u></u>

損益計算書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

【がんセンター】

(単位:円)

科 目	金 額	
営業収益		
医業収益		
入院収益	5,398,854,443	
外来収益	3,493,395,990	
その他医業収益	189,275,300	9,081,525,733
運営費負担金収益		1,452,442,234
資産見返運営費負担金戻入		715,077,000
補助金等収益		18,716,633
資産見返補助金等戻入		17,192,538
資産見返寄附金戻入		1,316,482
資産見返物品受贈額戻入		7,850,102
その他営業収益		90,000
営業収益合計		11,294,210,722
営業費用		
医業費用		
給与費	4,756,175,707	
材料費	3,361,366,760	
経費	1,490,096,959	
減価償却費	997,102,554	
研究研修費	134,213,262	10,738,955,242
取得資産に係る控除対象外消費税償却		43,484,391
控除対象外消費税(消費税損失)		385,550,074
営業費用合計		11,167,989,707
営業利益		126,221,015
営業外収益		
運営費負担金収益		108,542,000
寄附金収益		1,348,688
財務収益		226,768
その他営業外収益		59,257,128
営業外収益合計		169,374,584
営業外費用		
財務費用		130,931,454
その他営業外費用		42,269,560
営業外費用合計		173,201,014
経常利益		122,394,585
臨時利益		
貸倒引当金戻入益		541,443
臨時利益合計		541,443
臨時損失		
固定資産除却損		1,638,436
その他臨時損失		6,575,178
臨時損失合計		8,213,614
当期純利益(△損失)		114,722,414
当期総利益(△損失)		114,722,414

貸借対照表
(平成30年3月31日)

【本部】

(単位:円)

科 目	金 額	
資 産 の 部		
I 固 定 資 産		
1 有形固定資産		
器械備品	38,061,304	
器械備品減価償却累計額	30,298,933	7,762,371
車輛	1,588,380	
車輛減価償却累計額	994,724	593,656
有形固定資産合計		8,356,027
2 無形固定資産		
ソフトウェア		<u>0</u>
無形固定資産合計		0
3 投資その他の資産		
投資有価証券		99,994,666
長期前払消費税		643,102
投資その他資産		<u>11,760</u>
投資その他の資産合計		<u>100,649,528</u>
固定資産合計		109,005,555
II 流 動 資 産		
現金及び預金		1,173,082,016
医業未収金	1,573,056	
貸倒引当金	<u>△ 1,573,056</u>	0
その他流動資産		<u>200,000</u>
流動資産合計		<u>1,173,282,016</u>
資産合計		<u>1,282,287,571</u>

貸借対照表
(平成30年3月31日)

(単位:円)

科 目	金 額	
負債の部		
Ⅰ 固定負債		
資産見返負債		
資産見返物品受贈額	2	2
長期借入金		5,900,000
引当金		
退職給付引当金		25,319,832
長期リース債務		1,854,576
その他固定負債(施設間仮勘定)		<u>954,193,968</u>
固定負債合計		987,268,378
Ⅱ 流動負債		
寄附金債務		1,167,748
医業未払金		134,567,766
未払金		149,022,109
1年以内支払予定リース債務		618,192
預り金		8,884,871
引当金		
賞与引当金		<u>7,331,670</u>
流動負債合計		<u>301,592,356</u>
負債合計		1,288,860,734
純資産の部		
Ⅰ 資本金		
設立団体出資金		<u>1,178,442,089</u>
資本金合計		1,178,442,089
Ⅱ 繰越欠損金		
当期末処分利益(△当期末処理損失)		<u>△ 1,185,015,252</u>
(うち当期総損失)		(△ 163,154,740)
繰越欠損金合計		<u>△ 1,185,015,252</u>
純資産合計		△ 6,573,163
負債純資産合計		<u><u>1,282,287,571</u></u>

損益計算書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

【本部】

(単位:円)

科 目	金 額	
営業収益		
医業収益		
運営費負担金収益	7,404,000	
寄附金収益	94,284	
営業収益合計		7,498,284
営業費用		
医業費用		
研究研修費	979,910	979,910
一般管理費		
給与費	148,418,008	
経費	12,333,545	
減価償却費	7,678,222	168,429,775
取得資産に係る控除対象外消費税償却		103,965
控除対象外消費税(消費税損失)		1,201,252
営業費用合計		170,714,902
営業利益		△ 163,216,618
営業外収益		
その他営業外収益	203,599	
営業外収益合計		203,599
営業外費用		
その他営業外費用	248,721	
営業外費用合計		248,721
経常利益		△ 163,261,740
臨時利益		
貸倒引当金戻入益	107,000	
臨時利益合計		107,000
臨時損失		
臨時損失合計		0
当期純利益(△損失)		△ 163,154,740
当期総利益(△損失)		△ 163,154,740